

明治三十三年五月
新潟縣友大會報告



251
499

039668-000-1

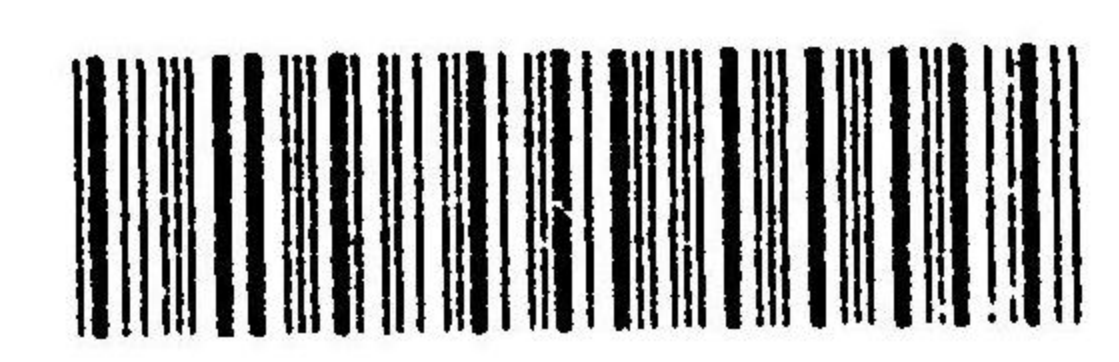
特26-953

新潟縣友大會報告 明治三十九年五月

坪谷 善四郎/編

M39.8

BDA-0248



特26
953



友大會報告



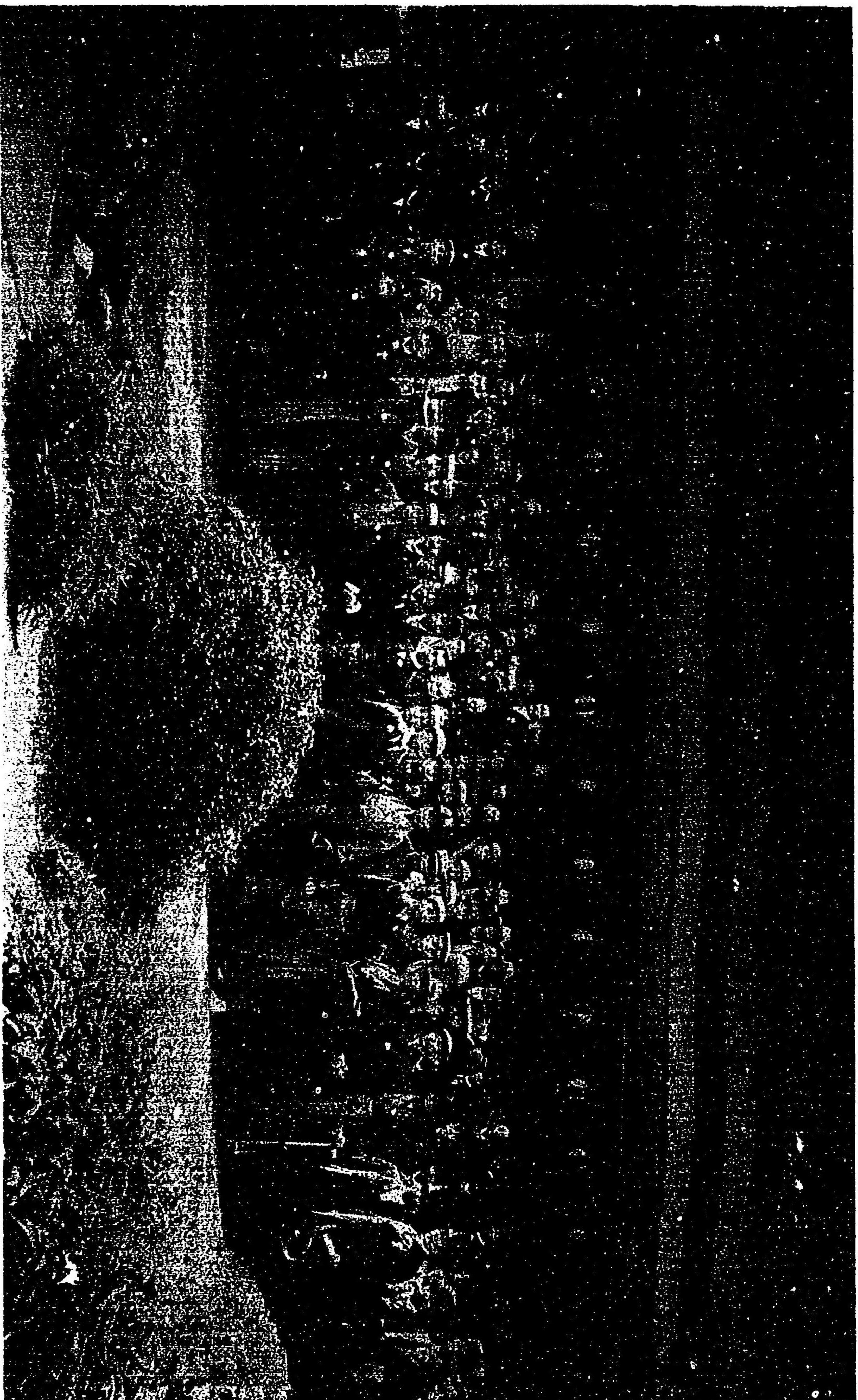
新潟縣友大會報告

目次

大會々員整列の圖(口繪コロタイプ)	一
同庭中の圖(同上)	一
(一) 發端	一
(二) 準備	二
(三) 大會當日の景況	二
(四) 大會殘務終了始末	二八
(五) 會計報告	三一
(六) 特別寄附人名	三三
(七) 來賓人名	三六
(八) 發企人總代人名	四六
(九) 發企人々名	四七
(一〇) 會員人名	六一

目次終

列整の外塲式會大友縣



新 潟 縣 大 會 場 の 庭 園



上圖の中央は小原陸軍少將、向つて右は牧野子爵、小原少將の左は橋本権預税關長、
下圖の三將校中向つて右端は李都宮海軍主計中監、中央は岸生陸軍歩兵中佐、左方
は豊邊陸軍騎兵大佐なり。

新潟縣友大會報告

(明治三十九年五月六日東京芝公園内紅葉館に於て)

(一) 發端

新潟縣出身にして、東京に居住する者、年々に増し、今は其數千を以て計ふべし。而して、此等同縣出身の人々、一場に會して一日の歡を盡す爲に、曾て新潟縣友會なるものあり、明治二十三年より二十六年に連なりて、數回大會を催ほし、また特に常設の事務所を置き、其會の報告書を發刊したる事ありしも、二十七年日清戰役開始の頃より、其事務所を廢し、報告書の發行をも停め、久しく再興の機會無りしが、其後在京同縣人の間に新潟縣中年會なるものを組織し、毎年數回會合して、晚餐を偕にするを例とせり。中年會とは其名の如く、元老連にもあらず、また書生にもあらず、年齒正に壯に、社會の中流以上に立ち、活潑に立ち、働らく同志の懇親會の、回を追ふて繼續せるものにして、親睦を厚くする外、毫も他に目的なきが故に、定まりたる會則もなく、唯だ會心の友人同志集りて、一夕の快談を縦にするに過ぎず。故に

其の會員も、來る者は拒まず、去る者は追はず、常に五六十人の數を保ちぬ。
 既にして日露の戰役は、我が陸海の連戰連勝を以て、終に敵を屈し、媾和約成り、將
 卒ともに遠からず凱旋せんとするに至れり。此に於て明治三十八年十月二十五
 日、日本橋區龜島町偕樂園に集會したる新潟縣中年會に於て、久しく中絶したる新
 潟縣友大會を開催し、新潟縣出身陸海軍人を招待して盛んに歓迎せんことを議し、
 其時期は、明年四五月頃、東京に於て舉行せられんとの議ある陸軍大觀兵式の頃と
 定め、其の確定の期日と詳細の計畫は、追て之を議定することとし、當日中年會の幹
 事たりし福島甲子三、瀨下清通の二君に囑し、縣友大會の開催に關する幹事をも托
 したり。

(二) 準 備

其後出征の陸海軍は連りに凱旋し、東京に於る陸軍大觀兵式は、明治三十九年四
 月三十日と定まるや、新潟縣中年會は、同年三月二十日、特にまた偕樂園に會合して
 左の諸件を協議決定したり。

一 五月六日を以て新潟縣友大會を芝公園紅葉館に開催し、凱旋陸海軍人の新潟
 縣出身將校を歓迎する事

- 一 招待すべき陸海軍人は東京在住者に限る。但し開會の當時在京する者は東
 京在住者ならざるも委員の見込を以て臨機に招待するを得る事
- 一 新潟縣中年會々員は成る可く發企人として加盟する事
- 一 新潟縣出身者は何人と雖も大會の發企人又は會員たるを得、但し中年會々員
 外の人にして發企たらんとするときは中年會々員の紹介を要する事
- 一 發企人中より總代若干名を選擧して代表を託し來賓への案内狀及會員募集
 の勧誘狀には發企人總代の連名を以て發する事
- 一 發企人又は會員は當日家族を同伴することを得、但家族は總て會費一人に付
 金一圓五拾錢ヅ、を出金して會員たる待遇を受る事
- 一 發企人又は會員は皆は豫め自己の出身地、現住地、職業、氏名并に同伴すべき家
 族の氏名を委員に通知すべき事
- 一 發企人中より委員若干名を選擧し大會に關する一切の事務を委任する事、但
 必要の場合には委員中より常務委員若干名を選擧するを得る事
- 一 會費は左の通りとす

會員一人に付金壹圓五拾錢

發企人 同 金五圓

委員の見込を以て發企人總代及其他の人々に特別の寄附を請ふことあるべき事

一委員は大會終了後其顛末、會費收支の計算、并に會員名簿等を編纂し印刷の上各會員に之を配附する事

以上

斯く決定したる結果當日直ちに委員を選擧し、猶委員中より常務委員を左の十人の諸君に囑托したり。

常務委員(姓名イロハ順)

羽田智證 萩原源太郎 川上元治郎 竹村良貞

坪谷善四郎 熊倉操 増田義一 福島甲子三

清水宜輝 瀬下清通

其後同月二十四日京橋區日吉町日本貿易協會に於て常務委員會を開き、左の諸君を發企人總代に推薦し後に至り各承諾を得たり。

發企人總代(姓名イロハ順)

子爵井伊直安 男爵石黒忠愼 男爵池田謙齋

長谷川泰 大倉喜八郎 大橋新太郎

高田慎藏 子爵内藤信任 梅浦精一

男爵前島密 子爵松平直靜 子爵牧野忠篤

佐藤伊左衛門 子爵榊原政敬 伯爵溝口直正

日比谷平左衛門

尋で四月九日また偕樂園に於て發企人總代及常務委員集會し、大會に關する豫算及其他各種の準備の事を議し、其の結果同月二十一日、發企人總代の連名を以て、新潟縣出身者二百五十四名へ發企人勸誘狀を發し、同時に左の各種の新聞紙へ會員募集の廣告を爲したり。乃ち

東京市内の新聞紙

時事新報 東京朝日新聞 萬朝報 都新聞

讀賣新聞 日本 東京日々新聞 國民新聞

報知新聞 電報新聞 中外商業新報

新潟縣下の新聞紙

東北日報 新潟新聞 新潟日報 北越實業新報

長岡日報 越佐新聞 佐渡新聞 佐渡毎日新聞

の各種なり。また發企人總代の名を以て發送したる發企人勸誘狀は左の如し。

拜啓益御清穆奉敬賀候陳は來五月六日午後一時芝公園紅葉館に於て新潟縣出身陸海軍將校歡迎の爲め縣友大會相開候間發企人たることを御承諾の上當日御出席被下度此段得貴意候 敬具

明治三十九年四月二十一日

新潟縣友大會發企人總代連名

殿

新潟縣出身 陸海軍將校歡迎 新潟縣友大會

一會 日 明治三十九年五月六日(日曜日)午後一時

一會 場 芝公園紅葉館

一會 費 發企人一人ニ付 金五圓 家族一人ニ付 金壹圓五拾錢

- 一發企人タルコトヲ御承諾ノ上ハ不日東京ニ在リテハ丁酉銀行清水宜輝君(本郷弓町一ノ七)横濱ニ在リテハサミユール、エンド、サミユール商會安藤達二君(宮崎町二)ノ手ヨリ發企人ノ徽章并ニ會費領收證持參受取人差出スベキニ付右引換ニテ會費金五圓御渡シ相願候
- 一御家族御同伴被下候義ニ候ハ、四月卅日限り最寄ノ取扱所ニ就キ會費壹圓五拾錢引換ニテ入場券御求ノ上當日右入場券ヲ受附ヘ御差出被下度然ル上ハ其場ニテ會員ノ徽章ヲ呈スベク候
- 一大會出席者ノ便ヲ圖リ左ノ數ヶ所ヘ入場券ノ取扱ヲ委託致置候ニ付可成多數ノ來會者アル様御知合ノ向ヘ御勸誘相願候尤モ入場券ノ取扱ハ四月三十日ヲ以テ締メ切リ候

大倉組 日本橋區本町三丁目

東京 京橋區南紺屋町十二

神田區表神保町三

本郷區元富士町二

横濱 宮崎町三又ハサミユール、エンド、サミユール商會

安藤達二

一大會終了後詳細ノ報告書ヲ調製シ發企人及會員ノ氏名職業住所等ヲ登載シ紀念ノ爲メ入會者ニ配付致度ニ付發企人タルコトヲ御承諾ノ上ハ別紙端書面欄内ニ必要ノ事項ヲ記入シ前以テ御通知相願候

一大會ノ準備ハ總テ委員ニ委託致置候

一發企人タルヘキ諸君ヘ自然通知洩レモ可有之ニ付御心當リノ向ヘハ御勸誘相願候

一本文御諾否ノ義ハ乍御手数數四月二十七日限り東京市神田區錦町三丁目東京瓦斯株式會社内福島甲子三君迄御一報相願候

各新聞紙ヘノ廣告は、上記勸誘狀の要を摘み、また發起人總代の連名を以てした

發企人及會員の勸誘と同時に、常務委員の人々は四方に手を分ち、特別寄附金の募集を請ひしに、何れも熱心なる賛成を得て、大倉喜八郎、大橋新太郎、高田慎藏、日比谷平左衛門等、諸君の各二百圓づゝを首とし、前後總て一千四百圓許の額に達しけ

れば、大會の設備も更に豫定計畫以上に擴張することを得、發企人も、會日の近づくに伴ふて増加し、總て一百六十人許と爲れり。故に其中より左の諸君に委員を囑托し、從來の常務委員を助け、ともに準備に力を盡すこととせり。

委員姓名(いろは順)

- 伊藤忠三郎 春山泰治 波多野傳三郎 羽田智證
- 萩原源太郎 橋本左武郎 富川浪之助 布川甲三
- 大橋省吾 奥村長作 渡邊和久太郎 加藤駒二
- 川上元治郎 田沼大吉 竹村良貞 田代亮介
- 内山正如 坪谷善四郎 熊倉操 久世佳隆
- 増田義一 福島甲子三 小金井權三郎 近藤虎五郎
- 昆田文次郎 青木直治 安藤達二 木村徳衛
- 木村彖市 清水亘輝 瀬下清通

次に當日の順序及餘興を決定し、左の次第書を印刷して當日入場の際之を交附することと爲せり。

新潟縣出身新潟縣友大會順序
陸海軍將校歡迎

明治二十九年五月六日午後一時芝公園紅葉館ニ於テ開會
午後一時三十分 (第一鈴)

- 一奏 樂 (市中音樂隊)
- 一餘 興 (手品) 歸天齋 小正 一)
- 一餘 興 (常盤津)

- 市川山姥 岡 綱
- 兩國涼船三人生醉
- 常盤津 都 太 夫
- 同 和 佐 太 夫
- 同 若 美 太 夫
- 午後二時開式 (第二鈴)
- 三味線 岸澤 仲造
- 上調子 岸澤 菊之助

- 發起人總代 男 爵 前 島 密
- 來賓總代 男 爵 石 黒 忠 愼

- 一歡迎文朗讀
- 一答 辭
- 一來賓演說

奏 樂 (君か代)
天皇陛下萬歲 三 唱

陸海軍萬歲三唱 新潟縣友大會萬歲三唱

此間紀念寫真攝影

一餘 興 三人片輪 (能狂言)

泉祐三郎社中

一摸擬店開始 (午後三時)

一餘 興 (紅葉踊 橋辨慶)

一餘 興 (梅坊主連中 庭園ニ於テ)

辨慶 っ ち

一餘 興 (能狂言)

泉祐三郎社中

一餘 土 蜘蛛 (勢ヒ獅子)

新橋藝妓

興 興 興 興

鳴りもの

興 興 興 興

寶三衛門連中

一摸擬店

一ピーヤホール

一葡萄酒ホール

一かまん酒

一だんご

一あま酒

一おでん

- 一辨當ノ御渡シ (時間ハ場内ニ揭示ス)
- 一紀念品贈呈 (會員意外ニ増加セルニ付發起人諸君ノ分ハ) (後日贈呈ス)
- 一紀念木杯 (箱入) 一風呂敷
- 一其外特ニ北越獨有ノ粽ヲ呈ス (新海甚句)
- 一盆おどり (新潟甚句)
- 一午後五時散會 (第三鈴)

會員全體

また大會當日の入場券并に發企人總代の人々に贈るべき特別入場券を製し、來賓の招待状とともに左の如く印刷せり。

大會入場券

表

新潟縣出身陸海軍將校歡迎
縣友大會入場券
一會日 明治三十九年五月六日午後一時
一會場 芝公園紅葉館
一會費 金壹圓五拾錢
一會員ハ此券ノ裏面各欄内ニ氏名其他ノ事項ヲ前以テ記入シ當日入場ノ際受附ヘ差出サレタシ
一當日會員ニハ酒餐其他紀念品ヲ呈シ且ツ種々ノ餘興ヲ觀覽ニ供ス猶追テ詳細ノ報告書ヲ印刷シテ之ヲ配附ス
一服裝ハ別ニ制限ナシ履物ハ靴・雪踏、又は艸履最モ便利ナリ

裏

姓名	職業	住所
氏名	業	所(東京又ハ横濱ノ住人ハ一時出京中ノレタル住所ヲ記セラシ)
職		
業		
住所		
新潟縣出身地		

注一 左記ノ事項ハ追テ報告書ニ登載スヘキ意ニ記セラレタシ

注二 會員名簿編纂上必要ニ付可成詳細ニ明

特別入場券

(112)

明治三十九年五月六日午後
一時芝公園紅葉館ニ於テ

特別入場券

新潟縣友大會

裏

注意
一此入場券ハ入場ノ際受附ヘ渡サレ
一此入場券ヲ所持セラル、者ハ男女
ヲ問ハス入場スルコトヲ得
一但一枚ニ付一人ニ限ル
一此入場券ヲ所持セラル、者ハ會員
ト同一ノ待遇ヲ爲スモノトス

來賓招待狀

拜啓益御清穆奉敬賀候陳ハ來五月六日午後一時芝公園紅葉館ニ於テ新潟縣友
大會ヲ開キ貴下其他縣地出身陸海軍將校諸君ヲ御歡迎申上度候間當日右刻限
ニ貴臨ノ榮ヲ得度此段御案内申上候敬具

明治三十九年四月二十一日

殿

新潟縣友大會

追て御來否乍御手数數來二十七日限り大倉喜八郎へ御一報相願候

此の招待狀には、別に發企人總連名の印刷物と、返信文を印刷したる郵便葉書を添へて發送したりしも、後に至り、更に後日報告書編纂の資料とする爲、當日は官職住所、氏名及出身地記入の名刺を携へて會場受附へ交附せられんことを請ひ、五月一日附の郵便葉書を以て、普ねく來賓へ發送したり。而して新潟縣出身將校の外、第二師團長西島陸軍中將と、歩兵第十五旅團長小原陸軍少將とへは、特に當日臨席を請ひけるに、西島中將は、差支ありて出席する能はずと回答あり、小原少將は、出席を諾せられければ、會場の光景は一段の光彩を添ふべく、發企人の意氣は益ます旺盛を加へたり。

爰にまた當日の來賓及發企人及會員に贈るべき紀念品に就て、委員間に意匠を凝らし、第一に紀念木盃は、朱塗りに蒔繪して越佐兩州に因める各種の雪輪を模様とし、此等の紀念物を容るべき風呂敷にも、同じ雪輪を染め、また宴會の終りに主賓盡とく入り交りて、新潟甚句の盆踊りを催はさん用にと、揃えの手拭を製し、是にも同じ雪輪を染むることゝ爲せり。而して會日の五月六日は、恰も端午の節句に當り、尙武に因める菖蒲の節句は、古來北越の習俗間、笹葉に包む粽を製するを例と爲せば、之を以て家土産とせんとぞ計畫しける。また餘興としては、新橋、柳橋、吉原の

各地に求め、新潟縣出身の藝妓を招き、盆踊りには必ず伴ふべき樽を叩きて音頭を取らしめんと企てたり。

斯くて準備は着々と進行する間に、時に意外の障礙を生ずるもの一二にして止らす。其の一は、當日の主賓に配附すべき折詰料理は、會場なる紅葉館に命じたるも、之に添ふべき越後粽は、同館にては經驗無くして製する能はず、故に之を二三の菓子屋に命じたるに、何れも原料の笹葉を得るに由なく、結局粽を添ふことは斷念する外無らんとするや、委員の一人青木直治君は、斯くまでにして見合せるも残念なり、我に考案こそあれと、自ら之が調製を擔任し、出入りの鮪屋より笹巻鮪用の笹葉を求め、また疊職より疊表の蘭を取り寄せ、北越出身の工場員を督して、一夜の間に數千の粽を製り上げ、自家職業の染物用に供する大釜を利用し、難なく八百人許りに供するに不足なき粽を製することを得たり。

次は盆踊りに参加すべき北越出身の藝妓を求め、梅浦精一、川上元治郎の二君、之を擔任せられしに、東京の花柳街、近來北越出身の佳人多からず、終に希望を全ふする能はざらんとするや、二君は更に臨機の考案を運らし、北越の角兵衛獅子に因み、新橋藝妓中に近來組織せられる名物の勢ひ獅子を餘興として出すこととし、始めて餘興の準備を完備せり。

然るに發企人及會員の申込は、會日の近づくに随つて増加し、當初は主賓總てを通じ、五百人許なるべきを期し、紀念品及其他總ての準備を爲したりしに、締切後に至りて、尙ほ續々加盟の申込あり、大會の前々日には、七百有餘の多數と爲りしかば、終に紀念品は、當日盡く交附する能はず、發企人諸君へは、後日送附することと爲し、急に其旨を印刷して報告することと爲せり。

斯くするも尙ほ加盟の申込は、陸續絶へず、然かも最早料理の準備に時日無く、大會前日より當日に通じ、大約三百人許りは、全たく謝絶するに至りしは、甚だ遺憾なりしと雖も、また以て其の盛況を想見すべきなり。

是に於て當日會場の内外に於る事務の分擔を定め、發企人總代、常務委員及委員を通じて、盡とく其の任務の爲に立ち働らき、來賓及來會員の總てをして、一人も遺憾なく満足せしめんと期し、其の分掌の任務を左の如く定む。實に舊藩主の方々を首として、貴族富豪の諸君が、斯くも揃ふての懇待は、前に其例なき所なり。

事務分擔

(氏名イロハ順)

來賓接待係

子爵 井伊直安君

池田謙齋君	男爵	石黒忠恵君	男爵	市島徳次郎君	男爵	長谷川泰君	男爵	大橋新太郎君	男爵	大倉喜八郎君	男爵	高田愼藏君	男爵	内藤信任君	男爵	梅浦精一君	男爵	山田平太郎君	男爵	前島密君	男爵	松平直静君	男爵	牧野忠篤君	男爵	牧口義矩君	男爵	佐藤伊左衛門君	男爵	柳原政敬君	男爵	溝口直正君	男爵	日比谷平左衛門君	男爵
-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	--------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	---------	----	-------	----	-------	----	----------	----

式場係主任

委員

波多野傳三郎君	竹村良貞君	坪谷善四郎君	增田義一君	橋本左武郎君	奥村長作君	小金井權三郎君	近藤虎五郎君	木村徳衛君	春山泰治君	羽田智證君	川上元治郎君	加藤駒二君	昆田文治郎君	青木直治君	坂井辰治郎君	木村糸市君
---------	-------	--------	-------	--------	-------	---------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------

餘興係主任

委員

模擬店係主任

委員

富川浪之助君
 布川甲三君
 渡邊和久太郎君
 増田義一君
 伊藤忠三郎君
 大橋省吾君
 田沼大吉君
 田代亮介君
 熊倉操君
 久世佳隆君
 萩原太郎君
 福島甲子三君
 瀬下清通君
 安藤達二君
 清水宜輝君

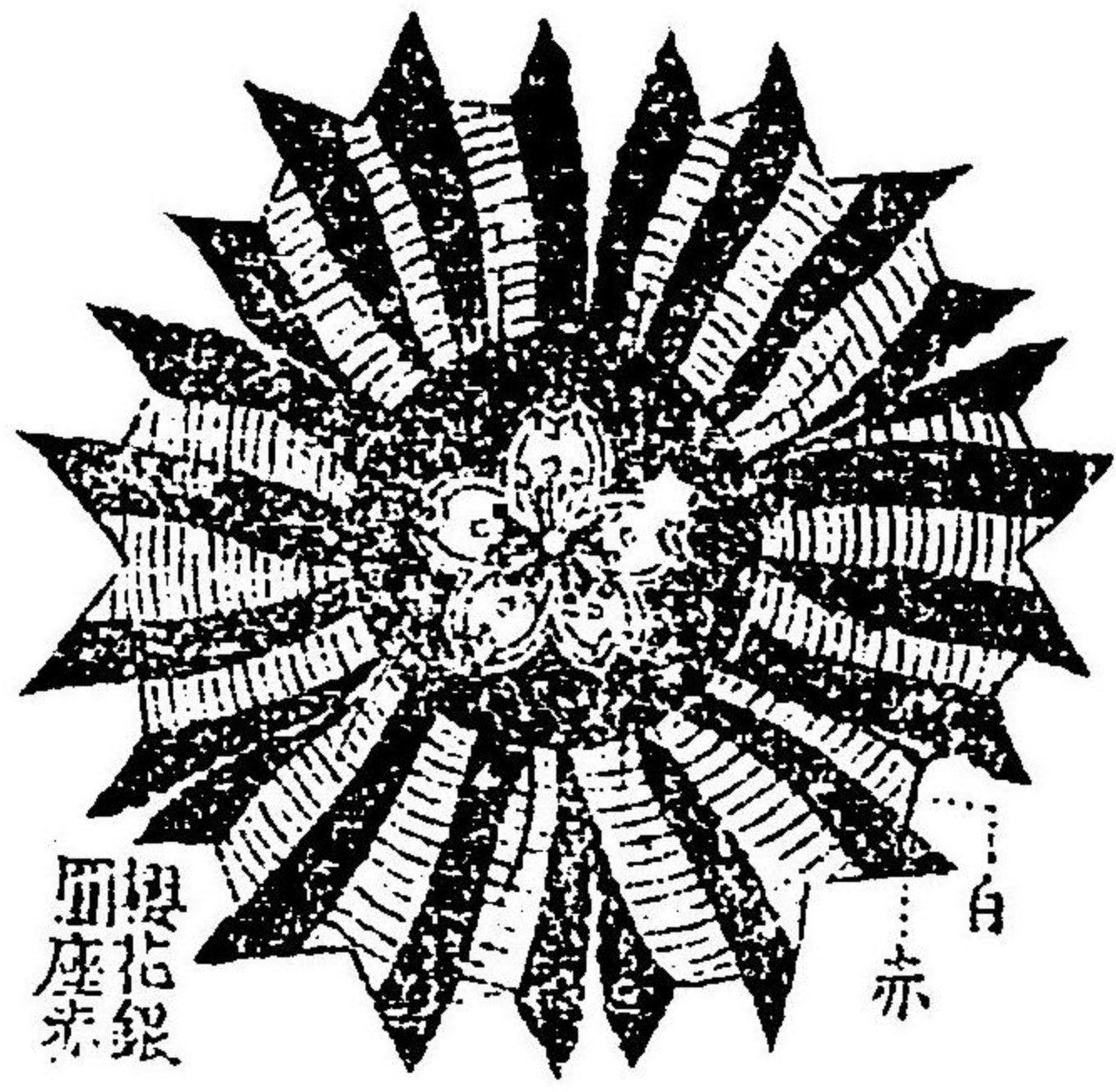
庶務

會計

係
 清安
 水藤
 宜達
 輝二
 君君

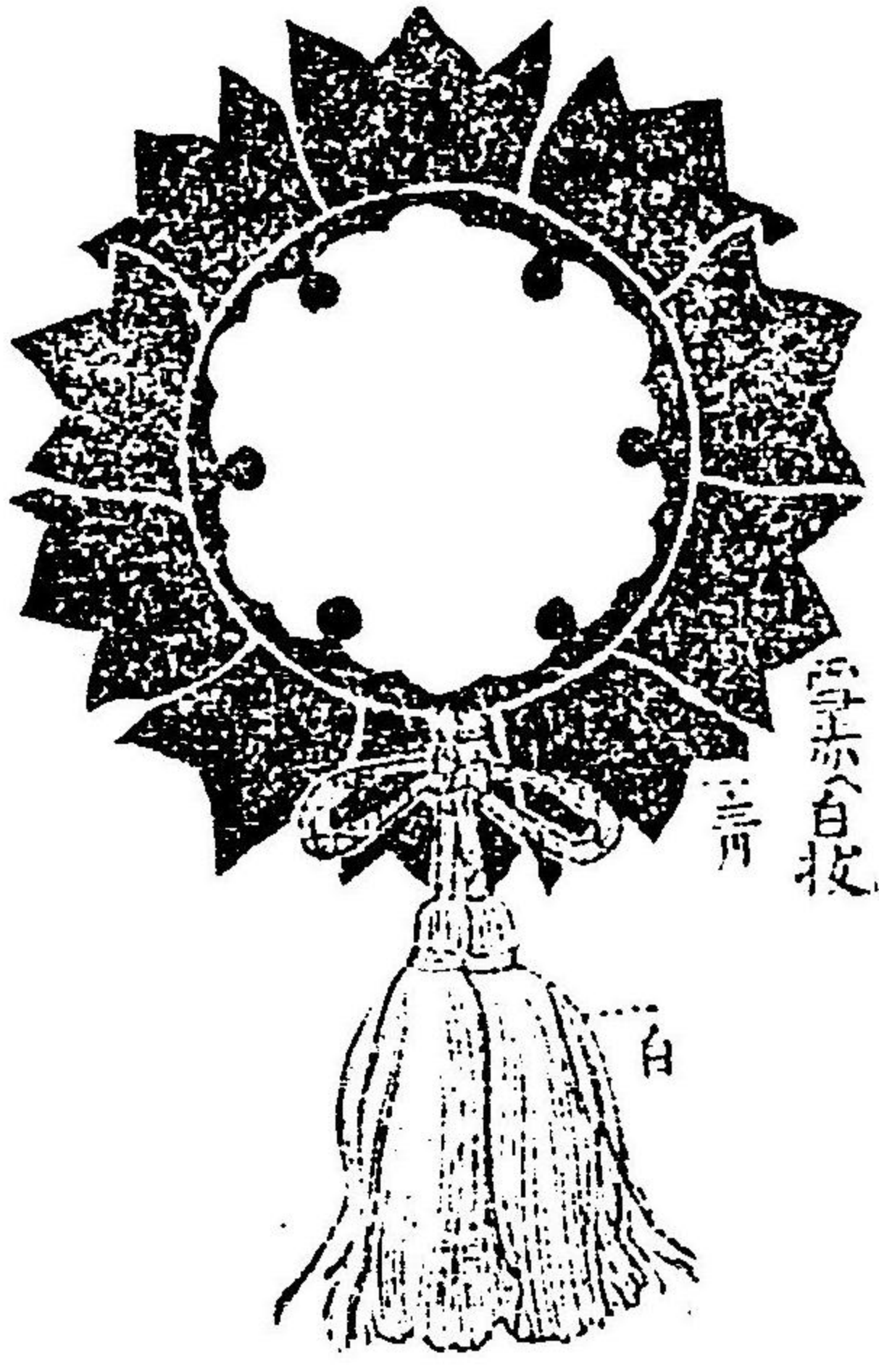
爰にまた當日の來賓、發企人、及會員、事務員等の佩用する徽章に就て記するの要あり。此事に就きては、成るべく識別を容易にし、且つ主人側に立つ者には、一見其氏名の誰たるを知らしむべく、四種に別ちて之を製したり。其の雛形は左の如し。

徽章雛形



來品徽章

花は 櫻花に人武士の意に因みて花に象る



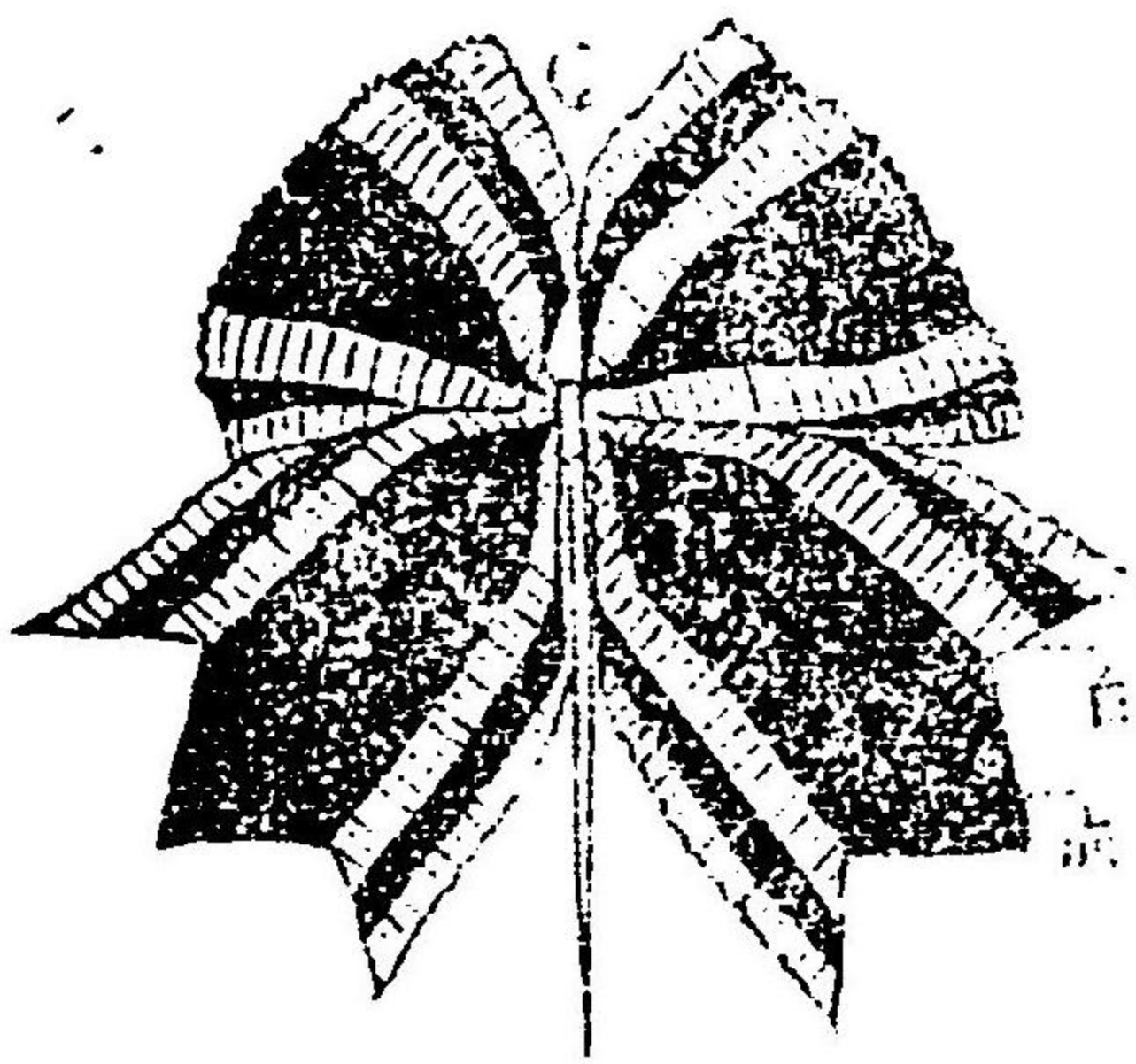
發企人總代
 發企人
 委員
 徽章

總の色を發企人總代は紫發企人は白委員は赤と中央なる餘白へ苗字を記入することす



會員章

雪輪は新潟縣の名物を表す



事務員徽章

また會場内にて料理と引換ふべき食券を製し會場の受附に於て、入場券と引換に交附することゝ爲したり。

食券

表

<p>明治三十九年五月六日 芝公園紅葉館に於て</p> <h2 style="text-align: center;">食券</h2> <p style="text-align: center;">新潟縣友大會</p>

裏

<h3 style="text-align: center;">注 意</h3> <p>一 園内豫メ辨當御渡シ所ヲ設ケ置キ此券引換ニ折詰辨當ヲ呈ス但一枚一個ニ限ル</p> <p>一 辨當御渡シノ時間ハ時ニ臨ンテ園内ニ揭示ス</p> <p>一 此券ハ閉園後無効トス</p>

斯くして準備は全く成れり、其の此に至るまでには、常務委員は數しば日本貿易協會に集會し、發企人總代の中より、石黒男爵は數回臨席せられ、數多の協議と研究を重ね、また各種の設備の爲には、委員皆な四方に奔走し、終に大會前日の午後、會場に臨檢して各種の準備を指揮し、時は間斷なく過ぎて、愈いよ大會の當日と爲れり。

(三) 大會當日の景況

明治三十九年五月六日は、實に新潟縣越佐兩州出身の在東京人士が、縣友大會を紅葉館に開き、同縣出身の陸海軍將校を歓迎する日なり。此日朝來天氣晴朗、薰風青葉に戰ぎ、氣候最も人に適す。是れより先き四月卅日、陸軍凱旋大觀兵式は東京に於て舉行せられ、全國各師團は言ふも更なり、滿韓各地の駐屯軍よりも、幹部の將校は概ね來り會したれば、新潟縣出身の將校を歓迎するには、最も時期の宜きを得、平時東京に居住せざる人々も、皆な一堂に會するを得たれば、當日招待に應じて來、會せらるべき陸海軍の將校のみにても、一百人餘と算せられたり。

此日發企人總代の諸君を首とし、各委員の人々は、午前十時より會場に會して内外に斡旋し、各國の國旗は、紅葉館の玄關前と庭内とに交又せられ、庭の入口に綠門を設け、會員は直ちに庭内に入るべく、來賓は一旦紅葉館に入り、樓上の休憩室に案内するものとす。而して井伊、松平、牧野、榊原の各子爵、池田、石黒、前島の各男爵は、長谷川、大倉、高田、梅浦、佐藤、日比谷の諸君、並に當日に至りて急に發企人總代に推薦せられたる市島徳次郎、山田平太郎、牧口義矩の諸君と共に來賓を接待せらる。此日發企人總代中、大橋新太郎君は、清國旅行中にて令息大橋進一君代りて臨席し、内藤

子爵と溝口伯爵とは、差支ありて各代理を出席せしめられたり。

既にして來賓は、正午頃より早くも陸續來り臨まれ、午後一時の定刻には、最早樓上の休憩室を満たし、何れも舊藩主若くは全國有數の富豪紳士が、自から座間に周旋せらるゝには、先づ其の待遇の鄭重なるに感激せられたるも多く、頓て小原第十五旅團長、星野第一師團參謀長、豐邊近衛騎兵聯隊長、阿部第二師團參謀長等を首とし、陸海の將校何れも燦然たる勳章を胸間に飾りて參列せらるゝや、主人側は、胸間の徽章に苗字を記して、一見其人と知らるゝも、來賓の氏名は之を知り難き爲に、其名刺を胸に挿むとし、また豫め席上に用意したる絹地畫箋紙などには、隨意に揮毫することゝ爲したり。然ども來賓中には筆を染める人稀に、却て逆に來賓より揮毫を求められ、當日は主賓兩面の資格を備へられる石黒陸軍々醫總監は、數十枚の揮毫に應せられ、果ては絹高帽の内部にまで、和歌の揮毫を請ふ者あり。男爵は之れにも一々應せられたりき。

當日の會員には、豫ねて夫人または令息令嬢の家族同伴をも勸告したれば、盛裝せる夫人、花の如き令嬢、未來の將校たるべき活潑なる少年も數多く、庭内を散歩するあり、階下の室内に在て式の始まるを待つあり。頓て午後一時三十分第一鈴の響くと、ともに先づ市中音樂隊の奏樂に始まり、歸天齋小正一の手品、都太夫一行の

常磐津の餘興、何れも、順序書の如く演奏せられ、次に第二鈴を以て歡迎の式を始めるを報ず。式場は樓下の廣間にて、餘興の舞臺を以て演壇と爲せり。

來賓は皆な演壇に對して正坐せり。發企人總代以下、各委員は壇の左右に起てり。時に委員波多野傳三郎君は、發企人總代男爵前島密君を紹介し、男爵は徐ろに演壇に登り、歡迎文を朗讀せらる。曰く、

明治三十九年五月六日我ガ新潟縣人ハ特ニ大會ヲ開キ同縣出身ノ陸海軍凱旋將校諸君ヲ招請シ聊カ以テ感謝ノ意ヲ表セント欲ス
願フニ三十七八年ノ戰役ニ於テ我ガ帝國ハ一躍一躍一等國ノ班ニ上ル是レ元ヨリ聖天子ノ御稜威ニ依ルト雖モ抑モマタ陸海軍人ノ誠忠勇武與ツテ最モ力アリ況ヤ同縣出身ノ將校ニシテ職ヲ戰時樞要ノ位地ニ奉シ功勳ノ赫々タル者少ナカラズマタ我ガ第十五旅團ノ驍名ハ中外ニ噴々タリ、吾儕同縣人感喜ノ情轉タ深キ所以ナリ
謹デ征旅ノ勞ヲ謝シ併セテ凱旋ノ榮ヲ賀スト云フ

新潟縣友大會

發企人總代 男爵 前島 密

前島男爵の祝辭了れば、波多野君はまた來賓總代として陸軍々醫總監男爵石黒

忠直君の挨拶あることを紹介せらる、石黒男爵は、一方に發企人總代として、主人側と爲り、また現職を以て來賓中の首位に居らる。故に其述べらるゝ所、主賓兩面よりせらる。其の演説に曰く、

會友諸君

本日我新潟縣友諸君が、我輩同縣出身の陸海軍人並に此戰役に従事したる輩を、此に歡迎せらるゝに際し、來會軍人諸君より一同に代りて拙者に、謝詞を述ぶる様に囑託されました、然る處拙者は、是迄いつも戰爭には、必ず樞要の職を以て従事しましたが、今度は既に十年前に職を後進に譲り、休退して豫備となり、今度の戰爭には、召集されて大本營附被仰付られたるものゝ、出征もせずして、或る職を執りつゝあり、然るに今日此に列せらるゝ、即ち御招に預りて來會せられたる諸君、殊に星野砲兵大佐は、始終第一師團の參謀長として、又豊邊騎兵大佐は、騎兵聯隊長として、阿部工兵大佐は、第二軍の工兵部長として、各々其職事に、著しき軍功を奏せられたるを始めとして、同縣出身諸君が海に陸に軍功を致されたに拘はらず、拙者が一同を代表してと云ふことは、頗る安んぜざる所故に、一應之を辭したれども、拙者が同縣人出身の軍人として、最高級で、最古參で、最年長と云ふ譯か

ら、秩序ある軍人仲間としては、是非代表してとの勧めに依り、謹で一同を代表して、此に短簡に謝詞を申述べます。

會友諸君。我縣友諸君は、特に此好時節を選び、此大觀兵式と云ふ好機會を用ひ、諸般鄭重なる盛會に、加ふるに、總代として前島男爵より最も厚き歡迎の詞を述べられたるは、我輩一同の最も光榮とする所である、我輩一同は唯一心職事に盡したる而已、別に軍功ありしとも思はざるに、最も敬愛する縣友諸君から、如此懇篤なる歡迎を受くることは、實に慚愧恐悚に堪へず、何を以て之に報ひんか、唯此後國家有事の時に當りては、益々心身を盡し、同縣出身者の名節を全うし、以て今日此厚待に報ひんとする而已なり、但し我輩幸に生きて凱旋し、此親愛なる厚待を辱ふすると共に、彼の戰時に於て戰死病歿されたる同縣出身の僚友が、此席に列ること能はざるを聯想して、歡喜の中に又涙を禁ずること能はざるなり、此に謹で總代として會友諸君の、懇篤鄭重なる厚情を敬謝す。

石黒男爵の答辭演説終りて、演壇を退かるゝや、其前面なる來賓席に起つ一將官あり。胸間に燦めく功三級の金鷄勳章は、先づ衆目を曳き、滿場の視線は盡く其人に集注す。是れぞ越佐兩州の健兒を率ゐて奉天附近に快戰せられたる歩兵第十

五旅團長陸軍少將小原芳次郎君なり。君は極めて明晰なる言語を以て一場の挨拶を述べらる。曰く。

諸君、余は今回大觀兵式に參列すべき命令を以て上京したりしに、本日新潟縣出身の多數なる貴顯紳士諸君の御發企に成れる新潟縣出身陸海軍人歡迎會を催はさるゝに當り、余が乏を歩兵第十五旅團長に奉ずるの故を以て、招かれて此の盛會の席末に列するを得たるは甚だ光榮とする所なり。

余が現職に補せられたるは、戦役の中ごろ以後に屬す。故に新潟縣出身の兵を率ゐて起居を偕にしたるは、戦役中の一半に過ぎず、而かも勇悍にして善く戦ひ、驍名の噴々たる越佐兩州の子弟を指揮して、之を運用するを得たるは、余が甚だ名譽とする所なり。余が本日の盛會に列するは、正に是れ歩兵第十五旅團長たるが故なるを思へば、余は實に部下の將卒に代つて本會の發企人諸君及會員諸君の御厚意を受くるものなり。茲に於て余は部下の將卒一同を代表し、謹んで茲に本會を催はされたる厚意を感謝し、歸休の後、具さに此の厚意を部下の將卒にも傳へんと欲す。

と。次にまた委員波多野傳三郎君は發企人總代大倉喜八郎君を式場の壇上に紹介し、大倉君の發聲を以て、天皇陛下の萬歳を三唱し、次に陸海軍の萬歳と、新潟

縣々大會の萬歳とを三唱し、了つて後式場椽側の外に於て、紀念の撮影を爲す間に、餘興はまた式場の跡に於て開始せらる。泉祐三郎社中の今様能狂言は、三人片輪を演じて、脚色は普通の狂言の通り、大名の家に拘へられたる偽せ不具者の、啞者豊者及盲者が、主人の不在に乗じて忽ち不具者ならざる本性を現はし、主人秘藏の酒を取り出して飲み興するとき、圖らず主人の歸り來るに驚ろき、周章狼狽して各自の装ふたる片輪を忘れ、啞者が俄に盲目と爲り、盲者が豊と爲り、豊が啞と爲るといふ一場の大滑稽、普通の狂言よりは世話に碎けし丈、今様狂言の特色を發揮し、殊に婦人小兒達の喝采を博したり。續いて紅葉館美人が最も手腕を示す所の橋辨慶の踊りは、妙齡にして艶麗なるかほるの牛若が、先づ五條橋畔に現はるゝとき、天晴源氏の御曹司の品格を具備して、觀る者をして皆な恍然たらしめ、續いて現はるゝ武藏坊辨慶の荒法師が、黒草絨の鎧に大長刀を引つ提げての立廻り、結局牛若に抗らひ兼ね長刀投げ棄て、平伏して家來となるまで、來賓の軍人達も、會員も、婦人小兒達も、滿場割るゝ計りの大喝采を博したり。既にして庭中には、模擬店を開き、ビール、葡萄酒、おでんにかん酒、偕は御鮎に團子にする粉、ハイカラ黨にはコーヒーにラム子、喉が渴けば御茶きこし召せ、甘酒も候ぞ、時分が好ければ折詰辨當家土産として紀念の木盃、風呂敷、手拭の景物に添へて、北越獨有の粽をも渡したるにぞ、會衆盡と

く満足して、且つ飲み且つ喰ひつゝ眺むるとき、更に式場跡には、新橋の美人が勢ひ獅子の踊りに、眼尻を垂れて口邊を滑らかにするあれば、庭上を練り歩く梅坊主一坐の道化踊りに、願の外るゝを覺へさるも多く、最後に響く越後甚句の樽砧たるきねの音に合せて、群る男女の足元は、千鳥のそのの危ふげなるも興多く、終日歡を盡して、一同退散したるは午後五時なりき。此日萬一の怪我に備へて、發企人篠田貞亮君が、篤志を以て準備せられたる救護所には、一人の厄介を懸る者無かりしとは、目出度ともまた目出度かりける。

若し夫れ大會舉行以後、殘務始末に就ては、石黒男爵の親しく録して贈られたる記事あれば、次に之を掲げたり。就て諒知せられんことを請ふ。

(四) 大會殘務結了始末

男爵 石 黒 忠 意

新潟縣友大會も、極めて満足の結果を以て決了し、其の経過を報告すべく、明治三十九年六月八日の夕、發企人總代と常務委員の人々とは、偕樂園に會合す。此日の來會者は發企人總代には

男爵池田謙齋、男爵石黒忠意、大倉喜八郎、梅浦精一、日比谷平左衛門、子

爵榊原政敬君代理安松宗廣

の諸君にて、常務委員には

萩原源太郎、川上元治郎、竹村良貞、坪谷善四郎、増田義一、福島甲子三、

清水宜輝、瀬下清通

の諸君なり。先づ福島君は、事務の経過を報告し、清水君は會計の收支を報告せらる。其の報告に依るときは、収入總額は金三千五十二圓にして、此日までの總支出は金二千四百五十餘圓にて、現に六百圓に近き剩餘あり、今後同會報告書の印刷、製本、及發送の諸費をも豫算して、尙ほ大約金四百圓許の剩餘を生すといふ。而して福島君は、更に其の剩餘金處分方法に就て協議せられんことを求めらる。

時に大倉君は、先約ある爲に一切の事を來會諸君に托して既に退席せられたりしが、梅浦君先づ發議して曰く、今回の大會は、主として、主任幹事福島君、瀬下君、並に會計係の清水君、庶務係の萩原君、安藤君其他各常務委員諸君が、計畫の當初より、本日に至るまで、數十日間、晝夜奔走せられ、爲に多額の寄附金も集まり、また大會當日の設備は遺憾なく實行し、七百有餘の主賓を通じて、盡く満足せしむることを得たるにて、其勞費は容易ならざるものと信ず、而して幸ひに尙ほ此の如く餘剩を生ずるに至りしは、一に會計主任者は勿論、其他常務委員諸君の經理宜きを得たる結果

に外ならざれば、自分等は、此剩餘金を以て、常務委員諸君に對し、先づ相當なる慰勞の意を表し、然る上にて尙ほ殘餘あらば、次に之が處分を議することにすべく、其慰勞の方法は、石黒男と大倉君とに御面倒を願ひたしと。安松君之を賛成す。而して清水、増田、萩原の諸君は、口を揃へて委員慰勞の必要なきを述べ、我々は當初より名譽職として委員の任に當り、幸ひに好結果に任務を結了したるは、望外の満足とする所なり。故に假令報酬を贈らるゝが如き議決ありとも、斷じて受けざる意なり、願くは殘金の全部を、保存す可きか又は悉く他の適當なる目的に處分するかに就て決せられたしと述べられ、福島君は、自分は、常務委員の一人なるも、主たる事務は、多く萩原君を煩はしたる次第にて、實に同君の庶務に於る、清水君の會計に於るが如き盡力は容易ならぬものあり。また今後報告書編纂に就て、坪谷君に其の擔任を囑したれば、是また最も多くの御苦勞を要すべしと信ず。就ては何れも相當の謝意を表することゝ爲さんことを望むと述べられしも、萩原、坪谷の二君は、また固く之を辭せらる。此に於て一同も委員諸君の好意を諒として、慰勞案は之を撤回し、剩餘金の全部處分案に移る。

剩餘金處分案は、之を保存して、他日再び縣友大會を開く場合の經費に供せんか、又は今回盡く他の目的に消費し了せんかとの問題なりしに、他日の計畫はまた其

時に經費を集むるの道あり、徒らに保存して煩累を残すは不可なりとは、全會一致の意見にて、然らば之を如何に處分せんかと云ふに及び、新發田、村松若くは新潟等に〔各町村各個分立の計畫を外にして〕全縣下即ち越佐兩國從軍戰病死者の爲に建碑する事あらば、之に寄附し、又新潟縣出身の陸海軍將校にして戰死若くは病歿したる人々の遺族の在京する者あらば、之に香奠を贈る事とし、建碑の事に付き、新潟縣知事への交渉と、遺族在京者の取調とは、一に大倉君と自分とに托し、其處分すべき金額は、總ての經費支辨後、報告書を以て報告することゝ爲し、茲に當日の議題を了りたり。

此に於て余は、發企人總代の代表者として、常務委員諸君が積日の勤勞に對し、感謝の辭を述べたり。而してまた諸君が多くの時間勞力の外に、自ら特別の費用を要しつゝも、尙ほ固く慰勞の贈遺を拒辭せられたる芳情に感じ、茲に報告書を刊行するに臨み、其の顛末を記して、卷尾に添へ、以て普ねく來賓諸君と、會員各位とに告げ、各位と共に永く委員諸君の此芳情を紀念せんとす。

(五) 會計報告

收入之部

- 一金壹千參百八拾七圓也
- 一金壹千五圓也
- 一金六百六拾圓也

發企人總代十六名寄附金
發企人百六十二名公會費及寄附金
會員四百四拾名分會費

總計金參千五拾貳圓也

支出之部

- 一金參百八圓也
- 一金壹百貳拾貳圓九拾五錢也
- 一金貳百參拾八圓五錢也
- 一金壹百九拾壹圓拾參錢也
- 一金四百貳拾圓貳拾四錢也
- 一金九百六拾五圓拾錢也
- 一金貳百九圓四拾九錢也
- 一金百九拾參圓拾錢也
- 一金四百參圓九拾四錢也

摸擬店費
裝飾費
餘興費
廣告并に印刷費
紀念品代
紅葉館諸拂
諸經費
大會報告書印刷并に配達料
丁酉銀行預ケ金

總計金參千五拾貳圓也

〔附記〕 此の剩餘金四百參圓九拾四錢は、六月八日の偕樂園會議に於て新發田村松若くは新潟に於て新潟全縣下即ち越佐兩州より從軍の戰死病歿者の爲に建碑することあらば、之に寄附去、又新潟縣出身將校にて戰歿したる遺族の在京する者あらば、之に香奠を贈る事とし、其の建碑に關して、新潟縣知事への交渉と、遺族在京者の調査とは、之を發企人總代中の男爵石黒忠貞、大倉喜八郎の兩君に托したり。而して兩君は直ちに先づ新潟縣知事に建碑の事を問合せられたるに、知事よりは、未だ全縣下を通じて統一したる建碑の計畫無しとの回答ありて、本會より直ちに剩餘金を寄贈するも、其の用途無きこと明白と爲り、また在京者の陸海軍戰病歿將校遺族を調査したりしも、未だ一人も申出る者無く、隨つて香奠を贈りたる者も未だ之あらず。故に今後に於て、實際支出の必要を見るまで、本文報告の如く剩餘金は、丁酉銀行に當座預金として之を預けたり。

(六) 特別寄附人名

本會に就き特別に金員を寄附せられたる諸君左の如し

- 金 二百圓
- 金 二百圓

大橋 新太郎君
大倉 喜八郎君

金二百圓	高田 慎藏君
金二百圓	日比谷 平左衛門君
金百圓	市島 徳次郎君
金百圓	梅浦 精一君
金百圓	佐藤 伊左衛門君
金百圓	溝口 直正君
金五十圓	内藤 信任君
金五十圓	前島 密君
金五十圓	牧口 義矩君
金五十圓	榊原 政敬君
金三十五圓	仁木 傳吉君
金三十圓	井伊 直安君
金三十圓	池田 謙齋君
金三十圓	石黒 忠恵君
金三十圓	山田 平太郎君
金三十圓	牧野 忠篤君

(三四)

また餘興其他物品等を寄附せられたる諸君左の如し

金十圓	長谷川 泰君
金七圓	松平 直静君
能狂言(泉祐三郎社中)	大倉 喜八郎君
天然葡萄酒店設備一式	長井 越作君
救護所設備一式	篠田 貞亮君
菊水葡萄酒六ダース	日本葡萄酒株式會社君
紀念寫眞撮影	弘 英堂君
同	坪谷 善四郎君

(三五)

(七) 來賓人名

(三六)

いノ部

類別	官	住	所	新潟縣出身地	氏名
東京帝國大學附醫科大學教授		東京市日本橋區久松町四〇		南蒲原郡今町 醫學博士	入澤達吉
第二師團參謀	陸軍歩兵大尉	仙臺市東三番町一四一		中頸城郡高城村	磯林直明
舞鶴要塞砲兵大隊附	陸軍砲兵中尉	京都府加佐郡舞鶴町舞鶴要塞		古志郡四箇村大字横山	稻川誠佐
陸軍被服廠々員	陸軍三等主計	東京市本所區外手町四四		中蒲原郡大江山村	稻村熊吉
近衛歩兵第四聯隊附	陸軍歩兵中尉	東京府下野多摩郡千駄ヶ谷村字穩田一六四金子方		南蒲原郡森町村	今井雄之丞
第三軍軍醫部長	陸軍二等軍醫	東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村九〇三		岩船郡村上町	今井緝熙
東京第一衛戍病院附	陸軍二等軍醫	東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村九〇三		南蒲原郡中野村	池田秀雄
海軍兵曹長		同荏原郡大井村四、一四六		長岡市	石垣忠衛
近衛歩兵第二聯隊附	陸軍歩兵大尉	東京市四谷左門町五一		中蒲原郡横越村	石塚喜一郎
貴族院議員	陸軍々醫總監	同牛込區揚場町一七		三島郡片貝村	石黒忠憲
近衛歩兵第四聯隊第三大隊長	陸軍歩兵少佐	同麻布區霞町二二		北蒲原郡新發田町	石澤盛松
近衛騎兵聯隊附	陸軍騎兵少尉	同赤阪區表町二ノ一七		刈羽郡山横澤村	飯田貞固
元後備第二師團第一野戰病院附		同下谷區二長町五二		刈羽郡柏崎町	飯塚嘉三郎

近衛工兵大隊附 陸軍工兵少尉 東京府北豐島郡王子村二一八 北蒲原郡水原町

芋川萬里次

はノ部

類別	官	住	所	新潟縣出身地	氏名
第一師團經理部々員	陸軍三等主計	東京市本所區綠町二ノ二三		東頸城郡菱里村大字下船倉	春谷萬治
函館要塞砲兵大隊附	陸軍砲兵少佐	函館要塞砲兵大隊官舎第一號		北蒲原郡新發田町	長谷川策
東京灣要塞砲兵聯隊附	陸軍砲兵中尉	東京小石川區餌差町三四		長岡市	伴甲藏

ほノ部

類別	官	住	所	新潟縣出身地	氏名
野戰砲兵第十五聯隊附	陸軍三等主計			佐渡郡金澤村大字泉	北條勤
	陸軍歩兵中尉	東京市小石川區表町五一		北蒲原郡水原町	星野幹
近衛歩兵第一聯隊附	陸軍歩兵中尉	同區表町五一		北蒲原郡水原町	星野達
第一師團參謀長	陸軍砲兵大佐	同牛込區市ヶ谷山伏町一九		岩船郡村上町	星野金吾
陸軍大學校兵學教官兼陸軍砲工學校教官	陸軍工兵少佐	同牛込町辨天町七〇		北魚沼郡小千谷村	星野庄三郎
軍艦淺間	乘組海軍機關少尉	同神田區猿樂町四三		三島郡寺泊町	本間文一郎

とノ部

(三七)

類別	官	住所	新潟縣出身地	氏名
軍艦	淺間 乘組 海軍機關少尉		新潟市	鳥居 秀夫
陸軍	騎兵實施學校長 陸軍騎兵大佐	東京市豊多摩郡千駄ヶ谷村 元原宿一八〇	長岡市	豊邊 新作

類別	官	住所	新潟縣出身地	氏名
步兵	第十五旅團長 陸軍少將	新潟縣北蒲原郡新發田町		小原 芳次郎
野戰砲兵	第十三聯隊附 陸軍一等主計	東京市赤阪區青山南町三丁目五〇	刈羽郡高田村大字黒漣	大橋 次郎太
陸軍大學校附兼同校教官	陸軍三等獸醫正	同牛込區市ヶ谷藥王寺前町七	長岡市	太田 植太郎
陸軍	事務局員 陸軍步兵大尉	東京府豊多摩郡淀橋町字角筈七三八	岩船郡村上町	大竹 澤治
騎兵	第十五聯隊第二中隊附 陸軍騎兵中尉	千葉縣千葉郡習志野村	中頸城郡旭村字梶	大瀧 舜次
	豫備陸軍步兵中尉	東京市牛込區市ヶ谷富久町 一二四	北蒲原郡猿橋村	大浦 德次郎
東京灣要塞砲兵聯隊附	陸軍砲兵大尉	東京灣砲兵聯隊内	北蒲原郡松浦村大字八幡	大江 曠雄
步兵	第十六聯隊附 陸軍步兵少尉		中頸城郡參賀村大字高柳	尾崎 信次
陸軍	戸山學校附兼同校教官 陸軍一等軍醫	東京市本郷區弓町一ノ八	三島郡日越村大字寶地	大森 篤次

類別	官	住所	新潟縣出身地	氏名
軍艦	八雲 水雷長 海軍少佐	神奈川縣三浦郡横須賀町汐入四七七	西頸城郡上早川村大字吹原	渡邊 仁太郎
	陸軍步兵中尉	東京市赤阪區壘町一	長岡市	渡邊 信
	陸軍步兵大尉		中蒲原郡新津町	渡邊 慶次郎

類別	官	住所	新潟縣出身地	氏名
元後備步兵	第五十一聯隊中隊長	陸軍步兵大尉	東京市麴町區三番町九小舎	金子 新太郎
步兵	第三聯隊附 陸軍步兵大尉	同麻布區麻布網代町一	南蒲原郡三條町	笠原 民次郎
第二師團軍醫部部長	陸軍一等軍醫正	仙臺市	中頸城郡高田町	笠 島 省吾
衛生材料廠附	陸軍一等主計	東京市麻布區霞町一七	岩船郡村上町	神谷 元亨
陸軍會計監督部部員	陸軍三等主計	同麴町區華町七佐竹方	岩船郡三面村大字壘太	貝 沼 定吉

類別	官	住所	新潟縣出身地	氏名
新潟縣立柏崎中學校授業囑託	陸軍步兵中尉		岩船郡村上町	横井 正義
野戰砲兵第十五聯隊附	陸軍砲兵中尉	東京市牛込區富久町九七	東頸城郡小黒村大字行野	横尾 則義
海軍	中佐	東京市麻布區芝北新門前町	中頸城郡古川村字園田	横田 平作
步兵	第三十聯隊附 陸軍步兵少尉	新潟縣中蒲原郡村松町大手通	中蒲原郡橋田村	吉井 静策

たノ部

類別	職	住	所	新潟縣出身地	氏名
步兵第十六聯隊附	陸軍歩兵少佐	新潟縣北蒲原郡新發田町字本村	中頸城郡高城村	高橋直武	
澁谷病院附	陸軍三等藥劑官	東京府豊多摩郡澁谷村字麻布廣尾七	北蒲原郡中條町大字中條	高橋永七	
陸軍要塞砲兵射擊學校教官兼同校教導大隊附	陸軍砲兵中尉		刈羽郡柏崎町	高橋捨次郎	
野戰砲兵第二聯隊附	陸軍砲兵中尉	東京陸軍砲工學校	新潟市	高田芳	
陸軍中央幼年學校生徒隊附	陸軍砲兵中尉	東京市麴町區六番町二六	北蒲原郡新發田町	高關俊雄	
豫備陸軍一等軍醫	陸軍歩兵中尉	同四谷區永住町二關方	三島郡島田村大字梅田	田村勝之助	
陸軍騎兵實施學校教導中隊	陸軍騎兵中尉	同日本橋區本石町二ノ五	中頸城郡高田町	田村光顯	
第二師團經理部附	陸軍三等主計	同赤阪區青山南町七丁目	新潟市	建川義次	
		仙臺市三番丁六六	北蒲原郡中條町大字西條	丹後良吉	
關東憲兵隊附	陸軍憲兵大尉		中頸城郡高城村舊高田藩	角田利輝	
第二師團在籍豫備陸軍歩兵中尉		東京市芝區高輪車町七一	中頸城郡高城村同	辻武雄	

なノ部

類別

官

住

所

氏名

第二驅逐隊主計長	海軍大主計			新潟縣出身地	中村守三
	陸軍輜重兵少尉			北魚沼郡川口村	中村幸之助
陸軍大學校副官	陸軍歩兵大尉	東京市四谷區丹町區荒野方	北蒲原郡新發田町	中村四郎太	
騎兵第一聯隊附	陸軍騎兵中尉	東京府豊多摩郡下澁谷村元青山南町七ノ一一	西頸城郡糸魚川町	中村四郎	

類別

官

住

所

氏名

東京豫備病院附	陸軍三等軍醫正	東京市本郷區西片町一〇に八號	中頸城郡高城村舊高田藩	室井信道
軍艦春日砲術長	海軍大尉	同赤阪區青山南町五ノ五	北蒲原郡葛塚村	村山有
			中頸城郡關山村	村越八郎

うノ部

類別

官

住

所

氏名

近衛騎兵聯隊附	陸軍騎兵中尉			新潟縣出身地	内山三郎
海軍大學教官、海軍省經理局々員	海軍教授、海軍主計中監	東京市芝區三田四國町一五	南蒲原郡中野村	宇都宮鼎	
步兵第三十聯隊長	陸軍歩兵中佐	新潟縣中蒲原郡村松町四六〇		宇宿行輔	

くノ部

類別 官 住 所 氏 名
陸軍省人事局補任課長 陸軍歩兵中佐 東京市牛込區中町二二 新潟縣出身地 長岡市 草生政恒

やノ部

類別 官 住 所 氏 名
騎兵第十四聯隊附 陸軍騎兵中尉 千葉縣千葉郡津田沼村大久保新田櫻井政右衛門方 新潟市 山内保次
近衛歩兵第三聯隊附 陸軍一等軍醫正 東京市赤坂區表町二ノ一三 中蒲原郡龜田町字袋津 山岸禮三

まノ部

類別 官 住 所 氏 名
陸軍騎兵實施學校教官 陸軍騎兵中尉 東京市赤坂區青山南町八 新潟縣出身地 舊新發田藩 丸山八十司
豫備陸軍二等軍醫 東京市本郷區金助町六栗田 北蒲原郡新發田町字三ノ丸 丸山讓
陸軍騎兵實施學校教官 陸軍騎兵大尉 東京府豐多摩郡中澁谷村九四〇 北蒲原郡新發田町本村字古徒士町 松田八郎

ふノ部

類別 官 住 所 氏 名
第二師團副官 陸軍歩兵少佐 仙臺市鍛冶町一 新潟縣出身地 中頸城郡三郷村 古木秀太郎
元第二師團第四野戰病院附 豫備陸軍三等軍醫 新潟縣中頸城郡泉村字卷淵一 深石正治

こノ部

類別 官 住 所 氏 名
海軍々醫少監 東京市四谷區元鮫ヶ橋南町二〇 新潟縣出身地 西蒲原郡味方村大字味方 小林愛次郎
近衛野戰砲兵聯隊附 陸軍砲兵中尉 同四谷區東信濃町九 長岡市 小林順一郎
近衛歩兵第二聯隊副官 陸軍歩兵大尉 同牛込區市ヶ谷長延寺谷町六 南魚沼郡大崎村 駒形宇多八
陸軍歩兵中尉 東京市本郷區本郷五ノ一四 中頸城郡新井町 小島次作
曾爾信男方

あノ部

類別 官 住 所 氏 名
第二師團參謀長 陸軍工兵大佐 新潟縣出身地 北蒲原郡水原町 阿部貞次郎
東京第一衛戍病院附 陸軍一等軍醫 中頸城郡高城村 合田平

さノ部

類別 官 住 所 氏 名
歩兵第十六聯隊附 陸軍歩兵少尉 新潟縣北蒲原郡新發田町字地藏堂町 舊新發田藩 齋藤榮治
歩兵第五聯隊附 陸軍歩兵少尉 青森縣東津輕郡筒井村 北魚沼郡藪神村 櫻井此松
海軍大主計 東京市麻布區谷町六一 北蒲原郡新發田町 笠井三藏
騎兵第十五聯隊附 陸軍二等主計 千葉縣千葉郡菫張町實根字烏ヶ崎 中頸城郡有田村字春日 佐藤孝平

類別 官 住 所 氏 名
 横須賀海軍工廠職工共濟會 海軍々醫中監 横須賀港中里二四二 新潟縣出身地 木戸龍仙
 病院長

類別 官 住 所 氏 名
 軍艦淺間乗組海軍少尉 新潟縣出身地 目黒孫四郎
 北蒲原郡水原町字山口

みノ部

類別 官 住 所 氏 名
 野戰砲兵第十四聯隊附陸軍 陸軍砲兵大尉 東京府豊多摩郡千駄ヶ谷村 新潟縣出身地 溝口直亮
 大學校學生 原宿二〇 北蒲原郡新發田町
 步兵第三十聯隊附 陸軍歩兵大尉 新潟縣中蒲原郡村松町搦手 岩船郡村上町 水野綱吉
 野戰砲兵第三聯隊附陸軍砲 陸軍砲兵中尉 東京市牛込區市ヶ谷富久町 南魚沼郡城内村 水澤源次
 工學校生徒 一二三
 東京灣要塞砲兵聯隊附 陸軍砲兵少尉 中頸城郡新井町字石場 宮本佐一郎

しノ部

類別 官 住 所 氏 名
 陸軍大學校教官 陸軍 教授 東京市赤阪區青山南町三ノ三 佐渡郡新町 司馬亨太郎
 騎兵第一聯隊附陸軍騎兵少尉 豊多摩郡澁谷村字中澁谷六 舊新發田藩 七里忍

ひノ部

東京豫備病院附 陸軍三等軍醫正 東京市四谷區荒木町二七赤 刈羽郡上小國村 品川賢齋
 陸軍三等藥劑官 沼ヨウ方 東京市芝區濱松町一五田中 北蒲原郡水原町 澁谷應吉郎
 步兵第十六聯隊附 陸軍二等軍醫 豊方 新潟縣北蒲原郡新發田町字 三島郡塚山村大字西谷 清水直次
 近衛歩兵第四聯隊附 陸軍一等軍醫正 西藥地六三二 東京市四谷區内藤町一八ノ三號 舊村上藩 下間兵彌

類別 官 住 所 氏 名
 步兵第二十五聯隊第一大隊長 陸軍歩兵少佐 北海道石狩國札幌郡月寒村 長岡市 平岡鋼太郎
 陸軍被服廠々員 陸軍二等主計 東京市四谷區大番町二 北蒲原郡菅谷村 平山多次郎
 陸軍士官學校教官 陸軍歩兵大尉 同下谷區上野花園町七 三島郡日越村字北方津 平澤耕平

もノ部

類別 官 住 所 氏 名
 第十三師團經理部々員 陸軍一等軍吏 東京市四谷區右京町二一 新潟縣出身地 諸橋勝馬
 豫備陸軍三等軍醫 佐渡郡新町 森 鷹藏

すノ部

類別 官 住 所 氏 名
 步兵第二十九聯隊中隊長 陸軍歩兵大尉 仙臺市外記町一二 新潟縣出身地 鈴木金六
 陸軍大學校兵學教官兼騎兵 陸軍騎兵中佐 東京市牛込區藥王子前町七 北蒲原郡黒川村 鈴木金六
 實施學校教官 三 南蒲原郡三條町 鈴木金六

(八) 發企人總代氏名

類別	住所	新潟縣出身地	氏名
貴族院議員	舊與板藩主	三島郡與板町	子爵 井伊直安
宮中顧問官	陸軍一等軍醫正	南蒲原郡西野村	男爵 池田謙齋
貴族院議員	陸軍々醫總監	三島郡片貝村	男爵 石黒忠恵
醫	同 牛込區揚場町一七	古志郡福井村	長谷川 泰
博	同 本所區元町一ノ二	長岡市	大橋新太郎
大	同 麴町區上六番町四三	北蒲原郡新發田町	大倉喜八郎
高	同 赤阪區葵町三	佐渡郡相川町	高田 慎藏
高	同 本郷區湯島三組町五八	岩船郡村上町	子爵 内藤 信任
高	同 神田區猿樂町一ノ六	長岡市	男爵 梅浦 精一
商	同 京橋區木挽町九ノ一一	中頸城郡津有村	男爵 前島 直靜
貴	同 小石川區關口町二〇七	西頸城郡糸魚川町	子爵 松平 直篤
貴	同 本所區綠町一ノ二九	長岡市	子爵 牧野 忠篤
貴	同 北豐島郡日暮里元金杉一三四	北蒲原郡水原町	子爵 佐藤伊左衛門
貴	同 北豐島郡日暮里元金杉一三四	北蒲原郡水原町	子爵 佐藤伊左衛門
貴	同 新潟縣北蒲原郡水原町	中頸城郡高田町	子爵 榊原 政敬
貴	同 東京市本郷區弓町一ノ六	北蒲原郡新發田町	伯爵 溝口 直正
舊	同 東京市本郷區弓町一ノ六	北蒲原郡新發田町	伯爵 溝口 直正
舊	同 北豐島郡集鴨村一ノ一七	北蒲原郡新發田町	伯爵 溝口 直正
舊	同 東京市日本橋區堀留町二ノ二二	南蒲原郡三條町	日比谷平左衛門

(四六)

(九) 發企人

職業	住所	新潟縣出身地	氏名
東京電車株式會社々員	東京府荏原郡入新井村大字新井宿二五五七	佐渡郡相川町	伊藤 東作
齒科 醫	東京市麴町區山元町一ノ一〇	東頸城郡下保倉村字横川	伊藤 忠三郎
大審院 判事	同 麻布區飯倉狸穴町四五	北蒲原郡水原町	伊藤 悌治
農	新潟縣北蒲原郡天王村	同上	市島 德次郎
早稻田大學圖書館長	東京市牛込區水道町三八	北蒲原郡安野村	市島 謙吉
育種業 東京三田育種場長	同 芝區三田四國町一	中蒲原郡滿日村	磯村 貞吉
國定教科書共同販賣所庶務課長	同 麴町區三番町一一	長岡市	井上 幹二郎
土地建物賣買並鑑定業	同 京橋區山下町一三	長岡市	井上 敬吉
線綿打綿脫脂綿原料卸商	同 日本橋區新材木町一四	南蒲原郡三條町	池田 乙松
橫濱鐵道株式會社 支配人	橫濱市宮崎町二五	刈羽郡高柳村	石塚 彦輔
醫	東京市日本橋區本石町一ノ五	古志郡十日町村字高山	飯田 勇

(四七)

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
辨 護 士	東京市神田區今川小路一ノ九	中頸城郡高田町	春 山 泰 治
衆議院議員 會社員	同 赤阪區赤阪表町三ノ三	長岡市	波 多 野 傳 三 郎
醫 師	橫濱市不老町二ノ一〇六	佐渡郡西三川村大字村上四〇	島 野 宰 助
開通合名會社 代表社員	同 南太田町二、二二三	中頸城郡津有村字下池部	服 部 智 收
辨護士 特許代業者	東京市京橋區三十間堀西豐玉河岸	中蒲原郡曾野木村大字曾川	羽 田 智 證
土 木 建 築 受 負 業	同 京橋區新宮町七ノ八	三島郡與板町	原 友 吉
旅 人 宿 業	同 日本橋區本銀町三ノ一〇	中魚沼郡十日町	原 田 金 藏
銅 鐵 商	同 神田區富山町一九	西頸城郡系魚川町	林 長 之 助
東京瓦斯株式會社庶務課長	同 京橋區新宮町七ノ七	西蒲原郡卷町	萩 原 源 太 郎
橫 濱 稅 關 長	橫濱市西戶部稅關官舎一	長岡市	橋 本 圭 三 郎
醫 師	東京市本郷區弓町二ノ二三	新潟市	橋 本 左 武 郎
機械、鑄物輸入、製造販賣業	同 京橋區彌左衛門町一	岩船郡村上町	長 谷 川 太 郎 吉
洋 服 商	東京市麴町區麴町一ノ一〇	新潟縣出身地	氏 名
農 業	新潟縣南蒲原郡長澤村 大字福田新田三	長岡市	仁 木 傳 吉
		同 上	西 潟 爲 藏

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
土 木 建 築 受 負 業	東京市下谷區二長町五二	三島郡脇野村字上岩井一	堀 川 利 尚
學 生	同 同	同 同	堀 川 平 之 丞
醫 師	同 本郷區湯島切通阪町四六	北魚沼郡川口村字中山四五	堀 澤 由 太 郎
土 木 受 負 並 木 材 業	同 本所區千歲町一九	刈羽郡柏崎町	星 野 岩 松
東京帝國大學文科大學教授	同 小石川區表町五一	中蒲原郡白根町	星 野 恒
海 上 貨 物 揚 卸 業	橫濱市海岸通五ノ二〇	佐渡郡河原田町	本 間 文 藏
職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
廣告裝飾及雜貨商	東京市京橋區南傳馬町二ノ二一	中蒲原郡村松町	富 川 浪 之 助
綿糸、織油、綿糸調帶製造業	同 日本橋區新材木町二〇	新潟市	富 阪 與 八
東京帽子株式會社 支配人	同 小石川區竹早町九八	刈羽郡柏崎町	土 肥 脩 策
職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
書籍雜誌販賣業	東京市本郷區元富士町二	新潟縣出身地	氏 名
		三島郡宮本村大字宮本	布 川 甲 三

東京醫科大學附屬醫院勤務

同 本郷區曙町一六

新潟市

布川興策

をノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

神 田 區 長

東京市神田區今川小路二ノ一二

中頸城郡高城村字馬場先

小原八十吉

書 籍 商

同 神田區表神保町三

長岡市

大橋省吾

農 業

東京府北豐島郡葉鴨町四ノ八西村方

南蒲原郡中ノ島村

大竹貫一

實 業

新潟縣三島郡片貝村一八

同上

大塚傳三郎

南北石油株式會社 取締役

北海道札幌郡苗穂村二〇

北蒲原郡新發田町

大倉喜三郎

大 倉 組 員

東京市赤阪區青山南町六ノ一一六

中頸城郡上稻田町

大倉信太郎

石炭 及 薪炭商

横濱市花咲町四ノ六〇

中頸城郡高城村

大島現三

陸 軍 教 授

東京市本郷區弓町一ノ一一

新潟市

尾田信忠

畫 家

同 下谷區下根岸町一二

新潟市

尾竹竹坡

東京帝國大學法科大學教授

同 小石川區小日向壑町二ノ一八

長岡市

法學博士

小野塚喜平次

內務省土木局技師

同 小石川區白山御殿町一二四

岩船郡村上町

奧村長作

子爵井伊直安家扶

同 麴町區紀尾井町六

三島郡與板町

奧山茂

有價證券現物賣買業

同 日本橋區米澤町二ノ五

三島郡與板町

尾崎壽郎

わノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

大 倉 組 員

東京市赤阪區葵町三

新潟縣出身地

渡邊和久太郎

行政裁判所評定官

同 赤阪區壑町一

長岡市

渡邊廉吉

かノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

金港堂書籍株式會社監査役

東京府北豐島郡日暮里村字金杉三

刈羽郡秋津村字加納

加藤駒二

官 吏

東京市牛込區甘藷町一六

岩船郡村上町

川上俊彦

醫 師

同 京橋區南佐柄木町五

古志郡東谷村大字泉

川上元治郎

辨 護 士

東京市日本橋區南茅場町四

北蒲原郡新發田町

片岡靜輔

日 本 銀 行 員

東京府荏原郡入新井村一、五二

中蒲原郡早通村茅野山

片山貞次郎

書 籍 出 版 業

東京市本郷區湯島四ノ五

中魚沼郡千手町村字沖立

柄澤照覺

よノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

外務大臣秘書官兼外務書記官

東京市麴町區霞夕關町一ノ一

新潟縣出身地

吉田要作

たノ部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

船舶代理店、海國日報社長
東京市京橋區元數寄屋町二ノ四
三島郡片貝村

商
同 日本橋區箱崎町四ノ一
西蒲原郡卷町

土木建築受買業
同 京橋區北紺屋町四
中頸城郡高城村

會社員
東京府荏原郡大井村
中頸城郡高城村

米穀肥料商
橫濱市南太田町二、二〇八
中頸城郡高田町

アンドリエース、エンド、
ナヨルサ合名會社々員
東京市下谷區上野西黒門町一九
中蒲原郡村松町

内務大臣秘書官
同 下谷區谷中清水町一二
刈羽郡石地町

會社員
同 赤阪區中ノ町二一
長岡市

辨護士特許代理業
同 麴町區内山下町官舎
北蒲原郡菅谷村

伯爵溝口直正家扶
橫濱市野毛町二ノ四五
新潟市

新潟縣會議員
東京市京橋區桶町三十一
西頸城郡糸魚川町字鉄砲

北豐島郡長
東京府北豐島郡葉鴨町一ノ一四
北蒲原郡新發田町字新發田本村

會計検査官
新潟縣西蒲原郡卷町
同上

東京帝國大學文科大學教授
東京市小石川區西原町二ノ一五
南蒲原郡福島村

東京工務所長北海道鐵道株式會社技師
東京府豐多摩郡千駄ヶ谷村
長岡市

東京市本所區森川町一
千駄ヶ谷九〇二
中蒲原郡横越村大字
横越三六八
中頸城郡高田町五六一
文學博士

太刀川 又八郎
館 武七
田 沼大吉
田 沼秀健
田 沼秀實
高 濱敷勳
高 橋直治
高 橋邦三
高 橋次太郎
高 尾傳七
高 田政敏
田 邊熊一
田 中端
田 中浪江
建 部 遜吾
武 和 三郎

(五二)

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

衆議院議員帝國通信社々員
同 麴町區富士見町五ノ一七
中頸城郡高城村大字四ノ辻

辨護士
同 麴町區内幸町一ノ三
三島郡與板町

醫師
同 神田區一ツ橋通町同仁會本部
刈羽郡岡野町村

博文館理事
東京市牛込區北山伏町二九
南蒲原郡加茂町狹口

會社員
同 芝區今入町三
中蒲原郡新津町

日本火災保險株式會社
同 本郷區曙町一六
長岡市

東京支店長
同 芝區車町七一
中頸城郡高田町

なノ部

住所

新潟縣出身地

氏名

天然葡萄酒發賣元
東京市京橋區館屋町一四
中蒲原郡新津町

洋酒罐詰問屋
同 京橋區銀座三ノ二二
長岡市

輸入商
同 本郷區元町一ノ三
長岡市

東京帝國大學會計課長
同 本郷區元町一ノ三
長岡市

東京電力株式會社技師
同 麴町區永田町二ノ三二
長岡市

むノ部

(五三)

(五四)

靴業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 東京市神田區連雀町一八 長岡市 村上勇雄
 東京府荏原郡品川町南品川二三六 中頸城郡高田町 村上佳景

うノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 東京市小石川區白山御殿町一二七 中頸城郡高城村字樹形五 上野貞正
 同 下谷區二長町三 北蒲原郡乙村字乙 内山正如

のノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 東京市京橋區加賀町一五 佐渡郡相川町字京町 野口字吉
 同 日本橋區本石町三ノ三 中頸城郡高土村字北方 越後屋 野澤十右工門

くノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 東京市日本橋區橋町四ノ二 中蒲原郡三條町 栗山安平
 同 京橋區弓町一七 南蒲原郡大崎村大字上保内 熊倉操

旅 人 宿 業 同 神田區駿河臺鈴木町一七 西蒲原郡上和納村 日昇館 日下部志勇
 同 小石川區小石川大和町一〇 岩船郡村上本町 久世佳隆

やノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 衆議院議員 農業 新潟縣西蒲原郡小吉村 同上 山田平太郎
 辯 護 士 東京市神田區新石町一四 北蒲原郡新發田町 山口 憲
 薪 炭 問 屋 同 麻布區飯倉町五ノ四七 南蒲原郡大面村 山口健治郎
 鑄造諸器械製造 同 日本橋區吳服町一 中頸城村高田町大字鍋屋 山岸孝七
 合名會社 安田旅館 支配人 同 神田區猿樂町三ノ三 長岡市 安田恭吾
 三井物産會社々員 東京府荏原郡馬込村字東一、〇一一 長岡市 安田 錐藏
 子爵 榊原政敬家扶 東京市本郷區弓町一ノ六 中頸城郡高城村 安松宗廣

まノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名
 電氣機械製造販賣 東京市麻布區新堀町七 北蒲原郡堀越村字大野地 前田武四郎
 手 形 仲 買 業 同 日本橋區新渡町二 西頸城郡糸魚川町 町澤政治郎
 衆議院議員 續 業 新潟市寄居町七〇三 中魚沼村水澤村 丸山嗟峨一郎

(五五)

丁酉 銀行員 東京市本郷區弓町一ノ七 中頸城郡高城村 松尾幹次
 柏崎 銀行頭取 東京市麴町區内幸町一ノ三 刈羽郡荒濱村 牧口義矩
 實業之日本社々長 同 芝區金杉新濱町一 中頸城郡板倉村大字戸狩 増田義一

ふノ部

職 業 住 所 氏 名
 續 業 東京市芝區芝田町五ノ五 新潟縣出身地 古田良三
 旅 人 宿 業 同 神田區淡路町二ノ一 中蒲原郡曾野木村大字曾川 福田喜一郎
 東京瓦斯株式会社 支配人 同 本郷區駒込西片町一〇 長岡市 福島甲子三
 古河骸炭製造所技師 東京府南葛飾郡八右衛門新田 中魚沼郡十日町 福島新平
 古河骸炭製造所内 東京市小石川區小石川諏訪町三六 新潟市佐渡郡相川町 理學博士 藤澤 利喜太郎
 東京帝國大學理科大學教授

こノ部

職 業 住 所 氏 名
 皇 憲 會 々 長 東京市神田區堅大工町二〇 新潟縣出身地 小林 藤 八
 工業藥品、化粧品商 同 神田區柳原河岸二二 西蒲原郡燕町 小林富次郎
 日本鐵道株式會社々員 同 芝區三田四國町三 長岡市 小林源一郎
 東京盲啞學校々長 同 小石川區指ヶ谷町七七 長岡市 小西 信 八

あノ部

眼 科 醫 同 日本橋區藥研堀町一 長岡市 甲野 業
 醫 師 同 下谷區御徒町二ノ一六 中頸城郡高田町 向野 鶴 吉
 同 神田區三崎町一ノ五 長岡市 小金井 權三郎
 同 本郷區元町二ノ六六 中頸城郡湯町 小山作之助
 同 本郷區駒込追分町九七 長岡市 近藤虎五郎
 同 本郷區駒込西片町一〇 岩船郡村上町 工學博士 小山正太郎
 同 麴町區飯田町五ノ一三 北蒲原郡新發田町 昆田文次郎

職 業

梅 浦 事 務 所 員 東京市京橋區明石町三一 新潟縣出身地 安部 徹 藏
 合資會社加島銀行 支配人 同 牛込區若松町一三八 新潟市 阿部 鐵次郎
 衆議院議員 農 業 新潟縣三島郡王寺川村大字上根川 同 上 青柳信五郎
 洋 染 色 業 東京市本所區柳島橫川町一 南魚沼郡鹽澤町 青木 直 治
 橫濱市役所土木課長 橫濱市戸部町六ノ一七三 中頸城郡高田町 安達彌五郎
 大藤省主計局長 東京市小石川區金富町五六 中頸城郡高城村 荒井賢太郎
 サミエール、エンド、サミエール商會員 橫濱市宮崎町三 中頸城郡高城村大字中々殿 安藤 達 二

さノ部

職業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

衆議院議員 農業

新潟縣西蒲原郡小池村

同上

齋藤 和平太

外務省翻譯官

東京市麴町區元園町一ノ二六

長岡市

齋藤 祥三郎

銀行員

同 神田區千代田町二

北蒲原郡水原町六八二

佐藤 伊三郎

醫師

同 京橋區采女町一四

長岡市

佐藤 保

煙草商

同 日本橋區小舟町一ノ八

西蒲原郡卷町

佐藤 駒吉

大倉土木組技師

同 芝區南佐久間町二ノ三

北蒲原郡長浦村

佐藤 四郎

著述業

同 神田區錦町三ノ五

長岡市

佐藤 信平

左右田銀行役員

横濱市宮崎町三六

刈羽郡柏崎町

左右田 信二郎

茨城縣技師

東京市駿河臺西紅梅町六

長岡市

佐々木 冲太郎

めノ部

職業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

醫學博士

東京市神田區東紺屋町六

北魚沼郡小千谷町

醫學博士

木村 德衛

興業仲介所専務理事

同 京橋區中橋和泉町六

中頸城郡高田町

木村 糸市

さノ部

圖書出版並販賣

住 所

新潟縣出身地

氏 名

東京市京橋區南傳馬町二ノ五

北蒲原郡新發田町

目黒 甚七

みノ部

職業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

新古典美術商

東京市京橋區大鋸町六

中頸城郡高田町

三館 一郎

醫師

横濱市山田町一ノ一一

中頸城郡黒川村字米山寺

宮島 義信

辯護士 特許代理業者

東京市京橋區南旗町一三

南蒲原郡三條町

宮島 次郎

しノ部

職業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

陸軍衛生部

東京市本郷區東竹町六

三島郡片貝村

篠田 和助

醫療器械製造並販賣師

同 本郷區丸山新町二

刈羽郡花田村

篠田 貞亮

子爵 内藤信任 家扶

同 神田區猿樂町一ノ六

岩船郡村上本町

島田 正忠

新聞記者

同 芝區愛宕町一ノ二

中頸城郡菅原村

繁野 珠城

株式會社丁酉銀行取締役

同 本郷區弓町一ノ七

中頸城郡高城村

清水 宜輝

ひノ部

職 業 辯 護 師 東京市神田區北神保町二
 中頸城郡高田町
 樋口繁次
 氏 名 平 出 修

せの部

職 業 商 業 東京市麴町區麴町八丁目二三
 新潟縣出身地 新潟市
 瀬戸口宗明
 氏 名 瀬 戸 口 宗 明

すの部

職 業 辯 護 士 特許代理業者 同 神田區今川小路二ノ二六
 佐渡郡河原田町
 瀬下清通
 氏 名 瀬 下 清 通

職 業 陸海貨物運送業 同 麴町區元園町一ノ二〇
 南蒲原郡加茂町
 關 周 藏
 氏 名 關 周 藏

職 業 高田商會副事務長 東京市芝區白金臺町一ノ二七
 須田信次
 氏 名 須 田 信 次

職 業 內務書記官 同 日本橋區西河岸町一五
 中頸城郡高城村
 杉浦久大
 氏 名 杉 浦 久 大

職 業 胃腸病院副院長 同 本郷區湯島切通阪町一七
 北蒲原郡島瀛村
 杉山四五郎
 氏 名 杉 山 四 五 郎

東京地方裁判所部長 同 芝區三田四國町一五
 中頸城郡高田町
 杉本東造
 氏 名 杉 本 東 造

岩船郡金屋村
 鈴木英太郎
 氏 名 鈴 木 英 太 郎

(二〇) 會員人名

通計四〇九人外ニ氏名ヲ逸シタル者十一人アリ

いの部

旅 人 宿 業 新潟縣中頸城郡高田町字下小區
 横濱市宮崎町三
 新潟縣出身地 西頸城郡能生谷村
 氏 名 荊 木 德 次 郎

會 社 東京市本郷區藍染町一九
 伊藤德次郎
 氏 名 伊 藤 德 次 郎

神 誠 館 編 輯 主 任 同 本郷區龜澤町一ノ四六
 刈羽郡柏崎町
 市川喜一郎
 氏 名 市 川 喜 一 郎

薪 炭 商 同 淺草區馬道町七ノ七
 中頸城郡板倉村字南中島
 市村常吉
 氏 名 市 村 常 吉

法 政 大 學 々 生 同 麴町區飯田町二ノ二七
 古志郡新組村大字百束
 岩淵勝次
 氏 名 岩 淵 勝 次

會 社 同 芝區西久保廣町三一
 北蒲原郡水原町
 岩淺勘助
 氏 名 岩 淺 勘 助

川 上 元 治 郎 家 族 同 京橋區南佐柄木町五
 南蒲原郡三條町大字田島
 岩崎カシ
 氏 名 岩 崎 カ シ

煙草專賣局事務官補 同 芝區二本榎町一ノ七七
 南蒲原郡三條町大字田島
 五十嵐藏三郎
 氏 名 五 十 嵐 藏 三 郎

銀 行 員 同 日本橋區南茅場町七
 中蒲原郡村松町
 板垣平吉
 氏 名 板 垣 平 吉

牛 乳 業 同 新潟銀行支店
 西頸城郡西海村大字真木
 猪股要助
 氏 名 猪 股 要 助

株 式 公 債 賣 買 同 日本橋區坂本町四
 中頸城郡高田町
 今井安太郎
 氏 名 今 井 安 太 郎

會 社 同 京橋區新榮町一ノ四林猶吉方
 中頸城郡高田町
 今井金作
 氏 名 今 井 金 作

池田米子	新潟縣南蒲原郡一ノ木戸村	同 上
石井澄	東京市日本橋區本石町三ノ一	南蒲原郡栗林村字柳川
石橋テ	同 萩原太郎方	南蒲原郡三條町
石田萬吉	同 日本橋區橋町四	新潟市
石黒真一	同 本所區橫網町二ノ一八	中頸城郡平丸村大字下平丸
石山幸太郎	橫濱十全病院	北蒲原郡新發田町本村
石丸常次郎	東京市麴町區元園町一ノ一九	中蒲原郡龜田町
石本長造	同 本郷區森川町一	刈羽郡中鱒石村大字善根
伊勢之海五太夫	同 本郷區元町一七	

職業

は

住 所

新潟縣出身地

氏 名

八町ミヨ	吳服商	東京市神田區岩本町五	長岡市	新潟縣出身地	同 上
波多野ハマ	波多野傳三郎妻	同 赤坂區表町三ノ三	同 上	同 上	濱田金藏
島山ヤス	古着商	長岡市吳服町	中頸城郡下黒川村字角取	北蒲原郡中條町字西川内	濱崎利暢
原菊次郎	酒類商	東京市神田區錦町三ノ八	中頸城郡直江津町	同 上	萩原英一
早川常次郎	西洋小問物商	同 京橋區常盤町五	北蒲原郡新發田町	同 上	萩原テウ
速水柳平	愛知セメント株式會社支店主任	同 京橋區三十間堀二ノ九	同 上	同 上	萩原精一

林 靜 治	積善組合主事	新潟市東堀通五番町一	同 上	同 上	橋本トク
濱田金藏	越後味噌醬油商	東京市京橋區八丁堀水谷町四	北蒲原郡新發田町	同 上	長谷川會太郎
濱崎利暢	銀行員	新潟縣北蒲原郡新發田町桶町五二	同 上	同 上	長谷川常三郎
萩原英一	萩原源太郎男	東京市京橋區新富町七ノ七	西蒲原郡卷町	同 上	長谷川啓子
萩原テウ	東京音樂學校學生	同 京橋區新富町七ノ七	西蒲原郡卷町	同 上	伴 誠 藏
萩原精一	萩原源太郎妻	同 京橋區新富町七ノ七	西蒲原郡卷町	同 上	
橋本トク	菅川商會員	橫濱市西戸部町九七九	西蒲原郡卷町	同 上	
長谷川會太郎	東京市本郷區弓町二ノ二三	東京市本郷區弓町二ノ二三	南蒲原郡新潟村	同 上	
長谷川常三郎	同 麴町平河町四ノ一五	同 麴町平河町四ノ一五	長岡市	同 上	
長谷川啓子	芝區白金三光町二六	芝區白金三光町二六	三島郡塚野山村	同 上	
伴 誠 藏	同 京橋區彌左衛門町一	同 京橋區彌左衛門町一	岩船郡村上町	同 上	
	同 小石川區紺屋町三四	同 小石川區紺屋町三四	長岡市	同 上	

職業

に

住 所

新潟縣出身地

氏 名

新澤文輔	醫 師	埼玉縣入間郡坂戸町一三三	刈羽郡野田村字田屋	新澤文輔
二階堂保則	統計局衛生局醫視廳事務囑	東京市小石川區大塚上町一三	南蒲原郡加茂町	二階堂保則
仁木庄三郎	古物商	同 麴町區麴町一ノ一〇	長岡市	仁木庄三郎

銀行員 同 芝區愛宕町二ノ一四
 學生 同 日本橋區本石町四ノ三
 古物商 同 麴町區平町二九
 會社員 同 芝區西久保八幡町二五
 電機商 長岡市千手町
 攻文社 東京市下谷區西町三イノ十號

二宮貞太郎
 西脇保治
 西脇金次郎
 西川徳治
 西山幸次郎
 西澤龜藏

ほの部

職業 堀川平之丞妻 東京市下谷區二長町五二
 堀川利尚妻 同 下谷區二長町五二
 書籍出版業 同 京橋區銀坐四ノ三
 日本銀行員 同 淺草區小島町六
 酒商 同 芝區西應寺町二五
 同 淺草區田島町三
 同 日本橋區濱町二ノ一二
 同 神田區五軒町一九
 新潟縣刈羽郡鯨波村
 農官吏 新潟縣刈羽郡鯨波村 同 上

新潟縣出身地
 堀川サヅ 三島郡勝野町村上岩井
 堀川ミス 三島郡勝野町村上岩井
 堀田達治 西蒲原郡峯岡村
 堀口新吉 岩船郡村上町
 北條智光院 西蒲原郡峯岡村
 細山銀二郎 三島郡野浦村
 帆坂藤治郎 南蒲原郡三條町
 保坂榮之丞 刈羽郡鯨波村
 保坂榮助 同 上

氏名
 堀川サヅ
 堀川ミス
 堀田達治
 堀口新吉
 北條智光院
 細山銀二郎
 帆坂藤治郎
 保坂榮之丞
 保坂榮助

岩井商店横濱出張店員 横濱市元濱町一ノ三 長岡市
 雜誌社員 東京市本郷區元町二ノ六松尾方 北蒲原郡新發田町
 齒家 同 麴町區内幸町一ノ三牧口義矩方 古志郡宮内村
 牛乳搾取販賣 同 日本橋區藥研堀町一九 長岡市
 東京日々新聞記者 同 芝區八幡町一八 中蒲原郡五泉町字川瀬

星野準一郎
 星野久
 星野誠二
 本間平三郎
 本間久四郎

との部

職業 新聞記者 北海道札幌區南一條西四ノ一三 新潟縣出身地
 東京米穀取引所仲買店員 東京市日本橋區蠣壳町一ノ三 新潟市
 會社員 同 麴町區内幸町一ノ五 西蒲原郡峯岡村
 德増猪三郎妻 長岡市千手町 同 上
 東京音樂學校生徒 東京市京橋區新富町七ノ七 長岡市
 萩原源太郎方 同 京橋區三十間堀町一ノ五 南蒲原郡中野西村
 同 淺草區芝崎町二四 新潟市西堀通三
 同 下谷區下谷町二ノ六

氏名
 外川水哉
 豐木良七
 戸塚武三
 德増チヨ
 德増春三
 德江多津
 富澤是真
 富坂保次郎

ちの部

職 業 士 住 所 新潟縣出身地 氏 名

辯 護 東京市芝區南佐久間町一ノ一 西頸城郡下早川村字瀧川原 近川 清澄

をノ部

職 業 住 所 新潟縣出身地 氏 名

宮 内 省 官 吏 青森市長島一二五 岩船郡村上町 鬼丸長次郎

公 債 株 式 賣 買 業 東京市日本橋區坂本町四 中頸城郡高田上小町 大橋 藤吉

藥 種 商 同 日本橋區本石町三ノ一八 長岡市 大橋 幹二

大 橋 幹 二 長 男 同 日本橋區本石町三ノ一八 長岡市 大橋 隆太郎

大 橋 新 太 郎 弟 同 日本橋區本町一ノ二二 長岡市 大橋 邦之助

大 橋 新 太 郎 母 同 日本橋區本町一ノ二二 長岡市 大橋 松子

大 橋 佐 平 孫 同 小石川區戶崎町六一 長岡市 大橋 佐太郎

製 本 業 同 芝區高輪南町四一 中頸城郡高城村 大河 内ス

同 神田區鎌倉町四三 三島郡尼瀨町 大谷 富太郎

同 深川區西森下町四ノ八高橋商店 三島郡塚ノ山村 大谷 松吉

同 本郷區菊坂町三七 東頸城郡牧村字高尾 太田 富藏

米 商 新潟縣南魚沼郡鹽澤町 同 上 大津 利藤太

學 生 東京市牛込區築土八幡町二四保坂方 三島郡片貝村大字片貝 大塚 清一郎

會 社 員 同 芝區田町四ノ一〇 南魚沼郡鹽澤町 大津 四郎

同 神田區仲町二ノ五 新潟市 大野 友吉

博 文 館 員 同 神田區駿河臺鈴木町一七 南魚沼郡鹽澤町 大野 金太郎

旅 人 宿 業 長岡市 同 上 大野 甚松

商 科 醫 東京市牛込區東板町一二 長岡市 大久保 新三郎

同 深川區西大工町一〇 西蒲原郡大原村字大船 大屋 岩雄

同 京橋區木挽町九ノ二五 三島郡相島村字島崎 大谷 地富蔚

同 本郷區松井町三ノ一〇 南蒲原郡加茂町 大湊 權次郎

會 社 員 同 橫濱市辨天通四丁目 南蒲原郡三條町 大島 榮松

日比谷商店出張所 南蒲原郡三條町 大島 俊藏

會 社 員 東京市京橋區南傳馬町一吉川弘文館 西頸城郡能生町 小川 梶子

同 芝區新堀町三一 南蒲原郡三條町 小川 梶子

同 日本橋區濱町二ノ二二 中頸城郡高田町 小川 松太

三 越 裁 縫 部 員 同 橫濱市花咲町六ノ七八 南蒲原郡三條町 小川 清吉

絹織物及手巾賣込商 東京市日本橋區上横町一六 北蒲原郡新發田町 緒方 仁四郎

書 籍 商 林清次郎方 北蒲原郡黒川村 小谷 秀三

西 洋 小 間 物 商 同 神田區裏神保町一 北蒲原郡黒川村 小田 信良

同 本郷區龍岡町二〇 中頸城郡高田町 小野 原定之助

同 下谷區下根岸町一〇五 南魚沼郡鹽澤町 小野 原定之助

東京製絨株式會社員 同 東京府荏原郡大井村三〇五九 中蒲原郡村松町 奧 畑 寬篤

農 會 技 術 員 東京府荏原郡大井村三〇五九 中蒲原郡村松町

古物商 東京市麴町區麴町一ノ一〇
銀行員 同 日本橋區坂本町四三

わノ部

職業

洋服裁縫業 東京市神田區今川小路一ノ一
米穀商 同 日本橋區濱町一ノ一二
農 新潟縣岩船郡下關村
洋服商 東京市麴町區麴町一〇ノ一四
橫濱正金銀行員 橫濱市西戶部町一四二
日本郵船株式會社々員 東京市日本橋區人形町四音堂
日本銀行員 同 麻布區霞町一七
農 同 麻布區霞町一七
新潟縣岩船郡關谷村
丁酉銀行員 東京市麻布區龍土町三、三石鎌次方
同 麴町區下二番町七一

新潟縣出身地

長岡市 若杉貞治
新潟市 渡邊長三郎
同 上 渡邊レイ
長岡市 渡邊貞三郎
長岡市 渡邊祐傳
三島郡岩塚村大字澤下條 渡邊水太郎
北蒲原郡葛塚町 渡邊次郎
北蒲原郡葛塚町 渡邊尙三
同 上 和田敬太郎
岩船郡村上本町 浦井唯一
西蒲原郡國上村

(六八)

長部時太郎
荻山氏重

職業

勞力請負業 東京市京橋區山下町二
川上元治郎家族 同 京橋區南佐柄木町五
醫 橫濱市不老町一ノ二四
織物商 東京市日本橋區本町一ノ一五
萬朝報社々員 同 麻布區北日ヶ窪町四〇
酒造業 新潟縣三島郡關原村
蒟蒻粉商 東京市日本橋區小網町仲町七
蒟蒻粉商 日本橋區小網町仲町七
靴商 同 芝區烏森町一
會社社員 同 神田區佐久間町四ノ九
木材販賣 同 淺草區下平右衛門町二五
靴商 長岡市中子手町
薪炭商 東京市淺草區南元町一七
上越水力電氣事業 同 小石川區古川町三二
運送業 新潟縣中頸城郡和田村字柳井田
書籍商 東京市麻布區飯倉町五ノ五〇
同 新潟縣刈羽郡比角村

住所

新潟縣出身地

中蒲原郡小須戸町 河内二三
長岡市 川上ツル
新潟市 川上剛一郎
中頸城郡高田町 川妻久吉
同 上 川野圭司
南蒲原郡加茂町 川口辰太郎
南蒲原郡加茂町 川口惣藏
北蒲原郡佐々木村字則清 川口順吉
中頸城郡高田町 川崎善四郎
三島郡片貝村 川島忠義
同 上 片山保三
長岡市 勝銀八
南蒲原郡中ノ島村字中條新田 金内清吉
同 上 金安太郎
古志郡上組村字村松 金子伊太郎
同 上 金子鐵藏
金子兵二郎

(六九)

水産業	同 赤阪區青山高樹町九	三島郡寺泊町	金子元三郎
葡萄酒販賣	同 神田區柳原河岸二四	東頸城郡牧村大字高谷	金井平太郎
農業	本郷區東竹町六篠田和助方	中魚沼郡水澤村	金澤新清
柄澤照覺妻	同本郷區湯島四ノ五	中魚沼郡千手町字沖立	柄澤トノ
宮内省官吏	同 本郷區湯島新花町九三	北蒲原郡水原町	香西義正
東京株式取引所々員	同 本郷區弓町一ノ二五	三島郡寺泊町	笠原孝太郎
學生	同 麴町區内幸町一ノ三牧口別邸	北蒲原郡紫雲寺村字福岡	上林行一郎
米穀商	同 日本橋區濱町一ノ二二		神山又四郎

よの部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

白米商	東京市小石川區江戸川町一〇	西頸城郡糸魚川町	横川吉藏
銅鐵商	同 京橋區越前堀一ノ一〇	中蒲原郡新津町	横山俊三
貿易商	同 小石川區表町一〇九	中蒲原郡橋田村	吉井秀三郎
萬朝報專賣	同 麴町區麴町七ノ八	中蒲原郡小須戸村	吉岡西吾
商人	新潟縣西蒲原郡卷町	同上	吉川嘉一郎
族人	長岡市	同上	吉川ヒノ
下駄商	東京市日本橋區長濱町四	西蒲原郡吉田村	吉田安次郎

たの部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

醫 師	東京市日本橋區村松町二〇太田方	北蒲原郡新發田町	田原周悟
第一師團經理部雇員	同 神田區錦町一ノ一淺井方	刈羽郡柏崎町	橋智観
田沼大吉妻	東京府荏原郡大井村	中頸城郡高城村	田沼ウタ子
田沼健母	同 荏原郡大井村		田沼マツ子
田沼大吉長女	同 荏原郡大井村		田沼スママ
田沼大吉次女	同 荏原郡大井村		田沼弘子
商店員	横濱市辨天通四丁目日比谷綿花部	南蒲原郡三條町	高畑正平
農業	新潟縣中蒲原郡大形村大字海老ヶ瀬	同上	高橋義彦
日本火災保險株式會社々員	東京市芝區愛宕下町一ノ一	中頸城郡直江津町	高橋彌太郎
高橋次太郎妻	横濱市野毛町二ノ四五	中蒲原郡小林村	高橋フデ
高橋次太郎長男	同 野毛町二ノ四五	新潟市	高橋誠一郎
高田新聞社々長	新潟縣中頸城郡坂倉村大字南中島	同上	高橋文質
吳服商	横濱市吉田町二ノ六〇	西頸城郡能生町	高橋定吉

早稻田大學々生	東京市牛込町横寺町三六鈴木方	西蒲原縣曾根村	多賀富藏
日蓮宗大學林講師	同 芝區三田四國町二番地ノ一	新潟市	高田叔二郎
海外殖民俱樂部理事	同 本郷區湯島切通坂町五一	中蒲原郡新岡村字小口	高野周省
安田銀行員	同 日本橋區濱町三ノ一ホノ四八	西頸城郡磯部村	高山政治
米穀商	東京府北豐島郡高田四谷町	中蒲原郡小須戸村字新保	高山末松
有價證券賣買商	東京市神田區千代田町五	東頸城郡松之山村字湯本	高澤哲四郎
雜貨商	同 神田區表神保町九田村方	古志郡黒條村大字下條	田邊安太郎
會社員	同 神田區東福田町二	三島郡出雲崎町	田中林七
諸織物卸商	同 本郷區幸町二八	北蒲原郡京ヶ瀬村	田中恒吾
會社員	同 日本橋區本石町二丁目中支店	中魚沼郡十日町	田中善輔
糸織商	同 淺草區永住町七三	刈羽郡鯖石村字藤井	田村豐亮
官吏	同 神田區錦町二ノ三	南蒲原郡三條町	多村長八
學生	同 麴町區富士見町四ノ五	南魚沼郡鹽澤町字竹俣	田村乙吉
農業者	同 麴町區内幸町一ノ三牧口別邸	新潟市	田卷政憲
靴商	新潟縣南蒲原郡中ノ島村字長呂	同上	武石貞松
吳服商	東京市神田區雉子町三〇	長岡市	武田大太郎
農	新潟縣中頸城郡高田町	同上	竹田勝藏
	同 三島郡大河津村字小豆曾根	同上	竹内右忠治

會社員	東京市日本橋區濱町一ノ二	刈羽郡柏崎町	竹内健三郎
會社員	同 神田區猿樂町三宮路方	南蒲原郡三條町	武熊夫
醫師	新潟市上大川前通六番町	同上	竹山屯
	同 上大川前通六番町	同上	竹山タツ
	東京市神田區佐久間町三ノ二一	中頸城郡高田町	武義一

その部

職業

牛乳搾取販賣業	東京市芝區白金志田町三〇	新潟縣出身地	反田五郎次
靴商	同 本郷區湯島天神町一ノ九〇	長岡市	相馬賢造
學生	同 本郷區湯島天神町一ノ四四	北蒲原郡新發田町	園田重徳
	龍田館	西頸城郡上早川村	染葉美和
	横濱市宮崎町四六植田方	中頸城郡高城村字四ノ辻	

その部

職業

紙商	長岡市山田町	新潟縣出身地	角田吉次郎
	同上	同上	

なノ部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

學	東京市神田區仲猿樂町一七吉野館	北魚沼郡小千谷村	長井利兵治
長井越作 家族	同 京橋區箱屋町一四	長岡市	長井キシ子
日本鐵道株式會社々員	同 下谷區中根岸町一五	長岡市	永井終治
	東京府豐多摩郡澁橋町字柏木九四	三島郡與板町	永井靜一
	神奈川縣保土ヶ谷村帷子川岸	刈羽郡柏崎町	中川清兵衛
大工	東京市京橋區新宮町三ノ四	中頸城郡高城村	中村平三郎
機械	同 京橋區新肴町三	古志郡川西村字古正寺	中村幹治
學生	同 本郷區切通坂町四〇遠陽館	刈羽郡柏崎町	中村善節
時計	東京府北豐島郡南千住町五三	中魚沼郡十日町	中山龍次
遞信技師	東京市芝區愛宕町二ノ一四	刈羽郡高濱町	中山鴻之助
東洋汽船株式會社々員	同 芝區愛宕町二ノ一四	同上	中町仁一
商	同 麴町區飯田町二ノ四七望遠館	同上	中澤壽子
	新潟縣南蒲原郡一ノ木戸村	同上	椰野ヤス子
椰野直妻	長岡市坂之上町	西蒲原郡卷町	南須原一策
商工中學生徒	東京市京橋區新宮町七ノ七		
	萩原源太郎方		

(七四)

むノ部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

北海道拓殖銀行東京支店主任	東京市本郷區四片町一〇にノ八	中頸城郡高田町	室井德行
薪炭商	同 芝區三田四國町二	南蒲原郡本城寺村	村井登市
會社員	橫濱市高島町六ノ一三	長岡市	村井繁雄
酒類販賣業	東京市京橋區新湊町三ノ一	刈羽郡下宿村	村山乙松
公債株式賣買業	同 日本橋區坂本町四、三五屋商店	新潟市	村山鐵造
海軍造兵廠勤務	東京府荏原郡北品川町二三八有馬邸	新潟市	向山福太郎

うノ部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

薪炭問屋	東京市京橋區北紺屋町河岸	南魚沼郡關村	上村新五郎
賃商	同 神田區表神保町一〇	長岡市	内山忠藏
	同 日本橋區駿河町一〇	中頸城郡高田町	宇梶利近
歌川助次郎長女	新潟縣西頸城郡糸魚川町横町	同上	歌川宗子

のノ部

(七五)

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
東京電車鐵道株式會社々員	東京市京橋區新湊町四ノ一中北方	西蒲原郡黑崎村	野上 要平
機 械 商	同 芝區高輪町二四	中頸城郡高田町	野田 正一
農 業	同 神田區三崎町二ノ一一	三島郡宮本村	野中 常吉
京濱實業新報主筆	野中太一郎方	北蒲原郡中浦村大字吉浦	野村 寅次
洋 服 商	同 神田區北神保町八	長岡市	野本 健治
洋 服 商	同 麴町區麴町一ノ一九	長岡市	野本 權太郎
洋 服 商	同 麴町區麴町八ノ九	長岡市	

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
辨 護 士	東京市京橋區本八丁堀四ノ九	中頸城郡高田町	黒田 松太郎
綿糸調帶製造富坂工場主任	同 本郷區元町一ノ三	三島郡與板町	久保田 堅次
醫 師	同 本所區向島押上町二四四	新潟市	栗林 清太郎
出 版 業	新潟縣南蒲原郡井栗村字井栗	同 上	桑 原 春 隨
農 業	同 刈羽郡柏崎町柏崎日報社	同 上	桑 山 直 二 郎
熊 倉 操 妻	同 北蒲原郡中條町字岡澤	同 上	熊 谷 忠 輔
熊 倉 操 妻	東京市京橋區弓町一七	南蒲原郡大崎村	熊 倉 貞 子
旅 人 宿 業	同 神田區錦町一ノ一	古志郡山本村	日下部 秀一

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
電 氣 機 械 製 造 業	東京市下谷區西黒門町二一	長 岡 市	尾 井 先 藏
メ リ ャ ス 業	同 深川區東森下町六〇	中頸城郡字猿橋	柳 原 惣 作
銅 鐵 商	同 本郷區龍岡町三四	西蒲原郡小吉村	山 田 留 藏
商 會 員	同 京橋區元數寄屋町二丁目亞細亞商會	三島郡七日市村	山 田 知 太 郎
硝 子 壘 商	新潟縣西蒲原郡地藏堂町	同 上	山 田 卯 之 七
日本鐵道株式會社々員	東京市神田區柳原河岸二四	西蒲原郡燕町	山 田 文 八
古 物 商	同 本郷區駒込曙町一〇	西蒲原郡浦濱村字角海	山 添 幸 太 郎
筆 墨 文 房 具 商	同 日本橋區小傳馬上町二二	南蒲原郡見附町	山 口 政 八
	同 日本橋區久松町三五	中頸城郡高城村字中殿通り	山 口 甚 九 郎
	同 麻布區飯倉町五丁目	南蒲原郡大面村	山 崎 六 平
	同 淺草區象潟町九	西蒲原郡島上村大字横田	山 宮 半 四 郎
製 油 業	新潟縣西蒲原郡地藏堂町	同 上	山 代 秀 雄
石川島造船所々員	東京市日本橋區箱崎町四ノ一	新 潟 市	

職 業	住 所	新潟縣出身地	氏 名
久 世 佳 隆 妻	同 小石川區大和町一〇	岩船郡村上本町	久 世 サ ク
雜 誌 記 者	同 下谷區中根岸町一〇四	新 潟 市	久 須 美 虎 一 郎

農	業	新潟縣三島郡西越村	同 上	山後保麿
靴	工	東京市京橋區南小田原町二ノ八	長岡市	山本平三郎
會	社	同 神田區美土代町四ノ一	同 上	山本留次
山	本留次長女	東京市神田區美土代町四ノ一	長岡市	山本松子
山	本留次母	同 神田區美土代町四ノ一	長岡市	山本キイ子
山	本留次妻	同 神田區美土代町四ノ一	東京市	山本鈴子
學	生	同 日本橋區本石町四ノ三山本支店	北魚沼郡小千谷町	山本友三郎
棉	花	橫濱市辨天通四丁目日比谷商店出張所	南蒲原郡三條町	山本長二郎
船	具	橫濱市元町五ノ一〇〇	長岡市	矢澤助次郎
東京	株式取引所々員	東京市本所區石原町八八	長岡市	八木澤久三郎
銀	行	同 日本橋區堀留町三ノ二左右田銀行	長岡市	矢島太郎
安	田	同 神田區猿樂町三ノ三	長岡市	安田房枝

ま / 部

職 業

奈	良古代漆器製造販賣	東京市麻布區飯倉町四ノ七	新潟縣出身地	前田一居
前	田 待 三 妻	同 小石川區諏訪町四六	新潟市	前田ムツ
		同 芝區三田四國町戸坂學校	中頸城郡高城村	前田古登子

住 所

氏 名

海	產	商	同 下谷區御徒町一ノ六九	三島郡片貝村	丸山周藏
			同 本郷區弓町一ノ七	中頸城郡高城村	松尾チヅ
學	生		同 本郷區元町二ノ一二	北蒲原郡新發田町	松尾謙
瓦	斯器	直輸入商	同 神田區小川町二一	中頸城郡高城村	松尾佐次郎
			同 本郷區弓町一ノ七	中頸城郡高城村	松尾スマ
學	生		同 日本橋區本石町四ノ三山本支店	長岡市	松村長松
諸	機	械鐵物輸入商	同 京橋區彌左衛門町	岩船郡村上町	松崎循
新	發	田青年寄宿舎監督幹事	同 本郷區眞砂町三七	北蒲原郡新發田町	松本米次郎
時	計	美 術 品 商	同 京橋區銀座尾張町	刈羽郡柏崎町	榎野辰藏
牧	畜	業	同 芝區新堀町三一	南蒲原郡大面村	卷之内勇吉
大	日	本高等女學會主幹	同 小石川區安藤坂區役所前	刈羽郡荒濱村	牧口常三郎
增	田	義 一 妻	同 芝區金杉新濱町一		增田浪江
增	田	義 一 長 男	同 芝區金杉新濱町		增田七郎
種	子	物 商	同 橫濱市末吉町六ノ六〇	中頸城郡高田町	增山巖

ふ / 部

職 業

醫	師	東京市本郷區駒込神明町四八〇
---	---	----------------

住 所

新潟縣出身地
三島郡來迎寺村

氏 名

深井清藏

醫	同神田區駿河臺北甲賀町池田謙齋方	中頭城郡平丸村大字下平丸	福井周作
洋服裁縫販賣	同神田區錦町一ノ一二	中頭城郡高城村	福富半助
神誠館々員	同本郷區湯島四ノ五神誠館	佐渡郡羽茂村字三瀬	福地榮次郎
醫	東京市養育院醫局	長岡市	福永芳藏
福島甲子三妻	東京市本郷區西片町一〇	長岡市	福島清子
福島新平妻	東京府南葛飾郡八右衛門新田古河骸炭製造所構内	長岡市	福島久子
油類販賣	東京市芝區七軒町二	岩船郡村上本町	藤田寛太郎

こノ部

職業

陸軍	東京市深川區東森下町五二	新潟縣出身地	氏名
薪炭商	同淺草區東町四	中頭城郡直江津町	小出造酒藏
洋服裁縫褌衣販賣	同本郷區春木町二ノ二一	中頭城郡板倉村字中野宮	小林仁太郎
私立學校設立者兼校長	横濱市不老町二ノ一〇九	南蒲原郡加茂町	小林鎮二
農	新潟縣中蒲原郡須田村字北湯	同 上	小林謙吉
玻璃器及護謨製品商	東京市本郷區春木町二ノ五三	南蒲原郡三條町	小林吉次郎
小林鶴藏妻	新潟縣北魚沼郡小千谷町	長岡市	小林ヒロ
商	同岩船郡村上字細工町	同 上	郷原保四郎

靴商

故陸軍歩兵少佐小金井壽造遺族	東京市神田區旅籠町一ノ三三	長岡市	鴻池留吉舊姓金内
東京併行社書記	同神田區三崎町一ノ五小金井權三郎方	千葉縣佐倉町	小金井フミ
藥種商藥學得業士	同 麴町區飯田町三ノ二六	中蒲原郡村松町	小風亥真穂
牛乳搾取業	新潟縣長岡市神田	同 上	小村庄平
僧侶	東京市赤阪區青山南町五ノ四〇	南蒲原郡中之島村字眞之代	小黑六太郎
折箱製作業	同芝區芝公園五號地永平寺出張所	中頭城郡湯町字小船津	小倉俊夫
統監府衛生技師	同本所區綠町四ノ五一	刈羽郡柏崎町	小熊桂藏
牛乳搾取業	同 麴町區上手三番町一一	北蒲原郡新發田町字新井田	小山善
實業	東京府豐島郡雜司ヶ谷村三三九	中蒲原郡早通村字茅野山村	小島平次
眞宗法融寺住職	新潟縣三島部出雲崎町	同 上	近藤平八
會社員	同淺草區松清町一五	新潟市	近藤勇健
	同 麴町區飯田町五ノ一七	北蒲原郡新發田町	昆田重三
	同 麴町區飯田町五ノ一三	北蒲原郡新發田町	昆田シン子
	同 麴町區飯田町五ノ一三	北蒲原郡新發田町	昆田セン子

えノ部

職業

住所

新潟縣出身地

氏名

東京市本郷區湯島四ノ五	岩船郡神納村字七湊	江見テフ
-------------	-----------	------

職 業
牛乳採取業
住 所
東京市本所區北二葉町四五
同 赤阪區青山北町五ノ三八
新潟縣出身地
寺尾 豊治
寺田 茂以

あノ部

職 業
古川弘文館代表者蠟燭町郵便局長
農科大學々々生
洋紙輸入商
石川島造船所々々員
法科大學々々生
會 社 員
大 工 職
大 工 職
商 工 業 職
住 所
東京市日本橋區蠟燭町二ノ九
東京市豐多摩郡千駄ヶ谷村字原宿一七四
横濱市山下町八九支那及日本貿易商會
東京市京橋區明石町三一
同 京橋區明石町三一
同 麴町區平河町三ノ五
同 芝區三田一ノ一
同 小石川區御殿町一〇九九淺木ヒサ方
同 麻布區六本木町二五
横濱市花咲町六ノ八一
新潟縣出身地
相澤 敬太郎
藍澤 誠一
阿部 鎮作
安部 三郎
安部 四郎
青山 友三
青木 勇吉
赤坂 長松
安達 利平太
荒井 常吉

さノ部

農 業
官 吏
銑鐵コークス機械商
運 送 業
學 生
住 所
新潟縣中頸城郡高田町字新田
東京市神田區三崎町二ノ一一野中太一郎方
東京府北豐島郡板橋村火藥製造所官舎
東京市京橋區本材木町三丁目
横濱市若竹町一
同 若竹町一安藤四郎三方
同 宮崎町三
同 宮崎町三
同 宮崎町三
新潟縣出身地
荒木 ヤッ
荒木 英男
淺野 豊次
秋葉 邦太郎
安藤 四郎三
安藤 智恵子
安藤 達彌
安藤 ナカ
東京市本所區松代町一ノ一九
同 日本橋區箱崎町一ノ一淺田東京支店
同 京橋區新宮町七ノ七萩原源太郎
東京府北豐島郡日暮里村字金杉一三四
東京市京橋區新宮町七ノ一〇
横濱市山下町七二
東京市日本橋區本銀町二ノ一二
中蒲原郡村松町
新 潟 市
西蒲原郡卷町
長 岡 市
西蒲原郡卷町
中頸城郡高田町
三島郡片貝村
齋藤 虎雄
齋藤 富次
齋藤 文雄
西 郷 稜
佐藤 初音
佐藤 長太郎
佐藤 タツ

紙	商	同 日本橋區本銀町二ノ一二	三島郡片貝村	佐藤 民藏
		同 神田區千代田町二	北蒲原郡水原町	佐藤 ソミ子
主	木業	同 神田區旗籠町二ノ一〇	三島郡片貝村	佐藤 直資
		同 赤坂區田町七ノ二	新潟市	佐藤 村太郎
東京水力電氣會社事務主任		同 京橋區新富町七ノ一〇	西蒲原郡卷町	佐藤 傳吾
東京商業會議所書記		同 京橋區新富町七ノ一〇佐藤傳吾	西蒲原郡卷町	佐藤 ミタ
履	物商	同 小石川區下富坂町一八	長岡市	佐藤 新二
學	生	同 京橋區乘女町一四	長岡市	佐藤 祐博
牛	乳業	同 麴町區富士見町一ノ九	刈羽郡	佐藤 祐吉
淨	土宗教師	同 淺草區橋場町一二二	北魚沼郡孝山村	里見義隆(舊姓黑島)
官	吏	同 神田區美土代町三ノ二水島方	西蒲原郡卷町	澤 栗末松
開通合名會社事務員		同 南太田町二二〇二	長岡市	澤 彦彌
會	社員	同 南太田町二二〇二	西蒲原郡三條町	坂井市次郎
牛	乳搾取業	東京市芝區白金志田町三〇	刈羽郡中鱈石村字與板	坂田 金作
醫	師	同 下谷區谷中三崎町五〇仙杏堂醫院	北蒲原郡菅谷村字藏光	坂上 庚平
大	日本修養塾長	同 牛込區東椋町一八	北蒲原郡新發田町	坂本 謹吾
著	述業	同 本郷區駒込片町二六	新潟市	櫻井 一義
農	業	新潟縣南蒲原郡中之字島村字中野西	同上	佐々木 與三太

米 穀 商
日本セメント株式會社々員

新潟縣佐渡郡相川町
熊本縣八代郡八代町日本セメント株式會社

佐々木増右衛門
笹本 務

さノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

東京瓦斯株式會社々員
筆 墨 硯 問 屋
書 籍 商

東京市京橋區木挽町九ノ一一梅浦精
同 淺草區東三筋町五一
同 神田區錦町二ノ三

刈羽郡中鱈石村大字善根
中蒲原郡五泉町
南魚沼郡湯澤村

北村 吉三
木村 太市
岸野 英一

みノ部

職 業

住 所

新潟縣出身地

氏 名

指 物 商
用 達 業
裁 縫 師

東京市京橋區南鍛冶町二七
同 日本橋區松島町九
同 本郷區弓町一ノ七
同 深川區東森下町五二

北蒲原郡新發田町本村
東頸城郡奴奈村
中頸城郡高城村
中頸城郡高田町

溝口 敬助
皆川 新太郎
南 卜ミ
三浦 巳十郎

しノ部

職	業	住	所	新潟縣出身地	氏名
僧侶		東京府豐多摩郡上澁谷村長泉寺		西頸城郡能生谷村	柴田得雲
東京市吏員		東京市芝區三田四國町二番地ノ一		中頸城郡高城村	白石信榮
高田直江町郵便局長		新潟縣中頸城郡高田町大字直江		北魚沼郡吉谷村大字吉谷	白川太吉
學		東京市京橋區南佐柄木町五川上元治		南魚沼郡六日町	篠田穰
銑鐵、骸炭、礦油商		東京市京橋區本村木町三丁目河岸一四		新潟市	篠置五三郎
銀行員		東京市芝區金杉新濱町一		新潟市	島勝次郎
織業、米商		東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町字原宿二〇一		長岡市	島淺太郎
茶商		同 神田區花田町六		北蒲原郡中條町	島肅三郎
陸軍三等藥劑官		同 日本橋區數寄屋町一一		北蒲原郡水原町	繁田郁藏
建築受負業		東京市本郷區弓町一ノ七		中頸城郡高城村	澁谷應吉郎
日韓貿易商會行務執行社員		新潟縣中魚沼郡寺ヶ崎村		同 上	清水ハナ
		東京市京橋區新榮町二ノ一		西蒲原郡彌彦村字山崎	清水富藏
		同 京橋區本八丁堀一ノ九		中蒲原郡村松町	清水與一
		同 本郷區弓町一ノ七		中頸城郡高城村	清水康太郎
		同 本郷區弓町一ノ七		中頸城郡高城村	清水正雄
		同 本郷區弓町一ノ七		中頸城郡高城村	清水小次郎
				中頸城郡高城村	清水キク

石川島造船所々々員 同 京橋區木挽町一ノ一一 中蒲原郡庄瀬村 眞保惣一
 同 本郷區龍岡町三六長流館 西頸城郡糸魚川町 新保八十平

ひノ部

職	業	住	所	新潟縣出身地	氏名
羽二重機業		新潟縣三島郡宮本村		同 上	廣川健治
靴製造販賣		東京市神田區錦町一ノ二		長岡市	廣瀬藤太郎
醬油醸造業		長岡市裏二ノ丁		同 上	平石良次
雜業		東京府南葛飾郡小松川村字新町四六八五		北蒲原郡新發田町本村	平賀留四郎
		東京市本郷區弓町一ノ七		中頸城郡高城村	樋口エイ

もノ部

職	業	住	所	新潟縣出身地	氏名
官		東京市麴町區三番町四一		佐渡郡相川町	諸橋一義
本願寺軍隊布教員		同 麻布區永坂町四		南蒲原郡見附町	森 德 仁
明治大學々々生		同 神田區三河町二ノ一五千年館		長岡市	森 富 夫

せノ部

職	東京高等商業學校學生	住	東京市本郷區湯島天神町一ノ五〇龍雲館	新潟縣出身地	關谷利次
學	生	同	神田區今川小路二ノ一六	佐渡郡河原田町	瀨下テツ
		同	神田區今川小路二ノ一六	佐渡郡河原田町	瀨下清行

すノ部

職	須田信次妻	住	新潟縣北蒲原郡中條町	新潟縣出身地	須具忠太郎
	須田信次長女	同	東京市芝區白金臺町一ノ二七	同 上	須田和歌
	須田信次長女	同	芝區白金臺町一ノ二七	佐渡郡相川町	須田美代
	自轉車販賣	同	橫濱市野毛町二ノ四五高橋次太郎方	中蒲原郡小林村	須田キツ
	杉山四五郎長女	同	東京市神田區末廣町一〇	中頸城郡高田町	杉野太三郎
	杉山四五郎妻	同	本郷區湯島切通阪町一七	北魚沼郡小千谷町	杉山若代
	醫	同	本郷區彌生町三小林道次郎方	北蒲原郡濁川村	杉山茂吉
	薪炭	同	淺草區東仲町二	西蒲原郡小池村大字小關	角谷久藏
	薪炭	同	淺草區聖天町三六	中頸城郡高田町字五分一	鈴木太作
	薪炭商	同	本所區松井町二ノ五		鈴木宗一

海軍造兵廠勤務	同	芝區三田四國町二番地ノ一	新潟市	鈴木直吉
農	同	本郷區眞砂町九	南蒲原郡本城寺村字東鱈田	鈴木又吉
薪炭業	同	新潟縣岩船郡金屋村	同上	鈴木久太郎
學	同	東京市本所區松井町二ノ五	中頸城郡高田町字五分一	鈴木錦太郎
株式土地建物賣買	同	同	同	鈴木雄次郎
洋服	同	京橋區三十四間堀一ノ七	中頸城郡高田町	鈴木次郎
商	同	本郷區眞砂町七	中頸城郡高城村字馬場先	鈴木次郎
商	同	京橋區南鍛冶町二八	中頸城郡高田町	鈴木重事

新潟縣大會報告終

附記

本報告編纂の事は、名譽職として小生之を擔任したるも、尙ほ石黒男爵、草生陸軍中佐、萩原源太郎君等の勞を煩はしたること多く、殊に名簿の編纂に就ては、概ね萩原君の手に成れり。當初豫め報告書の材料と爲す爲、來賓、發企人、會員諸君は、各身分、住所、出身地等を詳記して示されんことを請ひ置きしも、其事無りし方々も少なからざりし爲に、大會後諸方に照會して力を調査に盡し、出來る丈け完全を期したるも、尙ほ正確を保し難きもの無しとせず。殊に會員中には、全く其の氏名を逸して調査に由なきも數名あり。故に此等の缺點は、切に大方の諒恕を請はんと欲する所なり。また如上の調査の爲に、編纂上意外の時日を要し、爲に諸方より數しば報告書發行の遅延を責められたるは、小生の甚だ恐縮して陳謝する所なり。茲に特記して、本報告編纂の勞を幫助せられたる諸君に謝し、併せて發行遅延の理由を明かにす。

坪谷善四郎記

明治三十九年七月廿八日印刷
 明治三十九年八月廿三日發行

(非賣品)

編發
輯行者兼

坪谷善四郎

東京市牛込區北山伏町二十九番地

印刷者

吉見繁藏

東京市小石川區久堅町百〇八番地

印刷所

博文館印刷所

東京市小石川區久堅町百〇八番地

